はじめに



取扱説明ガイドの使いかた

- ホーム ボタンを押して、ホーム画面から「取扱説明書アプリ」を選ぶと取扱説明ガイドが開きます。
- ボタンを押すとカーソルが移動します。
- 決定 ボタンを押すと選択したページが開きます。
- 戻る ボタンを押すと前に見たページに戻ります。
- 青 ボタンを押すと「故障かな？」のページが開きます。
- 赤 ボタンを押すと「索引」のページが開きます。
- 緑 ボタンを押すとマイページに登録します。よく使う機能の説明をマイページに登録することができます。
- 黄 ボタンを押すとマイページを登録したページ一覧を表示します。
- 終了 ボタンを押すと取扱説明ガイドが終了します。

お知らせ

- 取扱説明ガイドに掲載している画面やイラストは、説明用のものです。実際の表示と異なったり、機能向上などのアップデート等により変更となる場合があります。
- 特に機種名を明示している場合を除いて、4T-B50CL1を例にとって説明しています。4T-B60CN1/4T-B55CL1は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。

はじめに

もくじ

1. 基本的な使いかた

1－1 . 接続機器（入力機器）を切り換える

1－3 . 4K放送を楽しむ

1－5 . 4K映像を楽しむ

1－6 . お好みのアプリをダウンロードする

1－7 . Google アシスタントを使う

1－8 . スマートフォンやタブレットのアプリをテレビにキャストする

1－9 . ヘッドホンで音声を聞く

2. テレビを見る

2－1 . テレビ放送を見る

2－3 . 番組表を使う

2－8 . 裏番組を見る

2－9 . 視聴中の便利な機能

3. ネットワークに接続する

3－1 . インターネットの準備をする

3－31 . インターネットに接続できない場合は

4. アプリを使う

4－1 . コンテンツプレーヤー

4－17 . ホームネットワーク

5. ファミリンクや他機器

5－1 . ファミリンク対応機器をつなぐ

5－5 . 4K出力対応機器をつなぐ

5－9 . HDR映像を見る

5－10 . ファミリンクで使う

5－19 . レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

5－25 . オーディオ機器をつなぐ

5－27 . パソコンとつないで使う

5－33 . 携帯端末などに表示される本機の機器名を変更する

5－34 . Bluetoothオーディオ機器で音声を聞く

はじめに

もくじ

6. メニュー操作

6－1 . 設定メニューの使いかた
6－3 . 設定メニュー項目の一覧
6－50 . ツールメニューの使いかた
6－51 . ツールメニュー項目の一覧
6－76 . 文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

7. 故障かな？

7－1 . 故障かな？と思ったら
7－30 . エラーメッセージが出たら
7－37 . こんなときは

8. その他／索引

8－1 . デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは
8－17 . 放送の種類について
8－27 . 用語の解説
8－32 . 索引
8－48 . 本機で使用している特許など

9. English Guide

9－1 . Part Name
9－11 . Switching the Display Language to English
ホーム画面などの言語を英語にする

基本的な使いかた



接続機器（入力機器）を切り換える

BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

- テレビ放送の画面からHDMI入力の画面に切り換えると、BDやDVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

下線部の手順はBDレコーダーなどの外部機器の操作です。

1. BDレコーダーなどを本機に接続し、電源ボタンを押して電源を入れる
2. 再生したいディスクなどをセットする
3. 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する
   - 表示中に⇒1−2ページの操作を行います。



次ページへつづく⇒



接続機器（入力機器）を切り換える

BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

下線部の手順はBDレコーダーなどの外部機器の操作です。

4. 入力切換 を繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ
   - 上下カーソルボタンでも選択できます。
   - ホーム画面からも選択できます。

（例）本機の入力1に接続した機器の映像を見るときは、「入力1」を選ぶ



選べる入力について
- 入力5は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。

5. BDレコーダーなどを再生する
   - 再生映像が表示されます。
   - 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続したBDレコーダーなどの取扱説明書をご覧ください。

基本的な使いかた

4K放送を楽しむ

4K放送の視聴について

- 本機は、2018年12月1日より開始された「新4K8K衛星放送」のうち、BS・110度CSによる4K放送 ※を受信するチューナーを内蔵しています。スポーツ、音楽など様々なジャンルを高画質、臨場感あふれる映像で楽しめます。
- BS・110度CSによる4K放送の開始後も、現在のBS・110度CS放送および地上デジタル放送は引き続き提供されます。
- BS・110度CSによる4K放送は、BS・110度CS放送で現在使用されている放送波(右旋円偏波の電波)と、新しい放送波(左旋円偏波の電波)で提供されます。

新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
http://www.apab.or.jp/4k-8k/

※右旋・左旋円偏波対応のアンテナ、分配器、分波器、ブースター、ケーブル等に交換が必要な場合があります。

基本的な使いかた



4K放送を楽しむ

BS・110度CSの4K放送（BS4K・CS4K）を見る

1. リモコンの 4K を押す
   - 1 ～ 12 や ∧ ∨ でご覧になりたいチャンネルを選んでください。

お知らせ

- BS・110度CSの4K放送のNHKや有料チャンネルの視聴や契約をする場合、ACAS番号が必要になります。「ツール」ー「基本設定」ー「端末情報」ー「ACAS番号表示」で番号を確認できます。

基本的な使いかた

4K映像を楽しむ

- 本機は、動画配信サービスを利用して、インターネット上の4Kコンテンツを見ることができます。

1. リモコンの ホーム や アプリ を押して、ホーム画面やアプリ画面を表示する
2. 動画配信サービスのアイコンを選ぶ
    - アプリが起動します。

お知らせ

- インターネット上のコンテンツを見るには、インターネットへの接続が必要です。
- アプリによっては、別途有料契約が必要な場合があります。

基本的な使いかた

お好みのアプリをダウンロードする

- Android TV™ では、テレビに対応したアプリを Google Play ストアからダウンロードできます。
  スマートフォン/タブレット向けのアプリとは異なる場合があります。

1. アプリを押してアプリ一覧画面を表示し、[Google Play ストア]を選ぶ
2. ダウンロードしたいアプリを選ぶ
   - アプリのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終わるとアプリは自動的にインストールされます。
   - アプリアイコンがホーム画面に表示されたら、アプリを起動できるようになります。

お知らせ

- Google Play ストアからアプリをダウンロードするには、インターネットへの接続と Google™ アカウントが必要です。
- Google アカウントをお持ちでない場合や共有のアカウントを作りたい場合は、以下のURLからアカウントを新規作成してください。
  https://accounts.google.com/signup
  URLは予告なく変更になることがあります。詳しくは、Google のホームページをご覧ください。
  Google アカウントはパソコンかモバイル端末で作成してください。
- アプリによっては、会員登録や利用料金の支払いが必要な場合があります。
- 有料のアプリの購入には、プリペイド方式の Google Play ギフトカードやクレジットカード情報が必要になります。
- アプリをアンインストールするときは、⇒ 6-5ページをご覧ください。

基本的な使いかた



Google アシスタントを使う

- 本機は音声による番組検索など、Google アシスタントに対応しています。
  ソフトウェアキーボードを使わずに、お好きなキーワードを声で簡単に入力してコンテンツを検索できます。
- ご利用には、インターネットへの接続、テレビとリモコンのペアリングが必要です。
  （⇒3-1ページ）

1. リモコンの ボタンを押す
2. リモコンのマイクに向かって探したい番組のキーワードや質問などを話す
3. 画面に検索結果が表示される

お知らせ

- ホーム画面で音声による番組検索をするとアプリ横断でコンテンツを検索した結果が表示されます。アプリによっては、アプリ内でのコンテンツ検索となります。
- スマートフォンやスマートスピーカーに搭載されている Google アシスタントとは、動作や対応サービスが異なる場合があります。
- 本機能でご利用可能なサービスは予告なく変更・停止・終了することがあります。また、第三者が提供するサービスについて、当社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

基本的な使いかた

スマートフォンやタブレットのアプリをテレビにキャストする

- 本機は Chromecast built-in を使って、スマートフォンなどで表示しているお好きな動画やアプリを直接テレビに映す（キャストする）ことができます。

1. スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を、テレビと同じネットワークに接続する
2. モバイル機器で Chromecast built-in 対応アプリを起動する
3. モバイル機器でアプリ内のキャストアイコン（  ）を選ぶ
    - モバイル機器で表示している動画などがテレビに表示されます。

お知らせ

- Chromecast built-in を使うには、同一ネットワークへの接続が必要です。
- 動画再生において、アプリによっては別途有料契約が必要な場合があります。

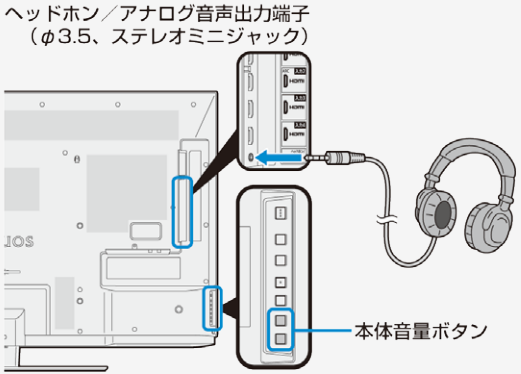
基本的な使いかた

ヘッドホンで音声を聞く

映像調整

1. ツール を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「音声出力端子」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「ヘッドホン／アンプ」を選び、決定を押す
   - ヘッドホンとテレビスピーカーの両方から同じ音声を出力させたい場合は「テレビスピーカー＋ヘッドホン/アンプ」を選択してください。音量は固定に設定されます。

     ※音量が調整できないヘッドホンは、接続・設定しないでください。耳を痛める可能性があります。
4. ヘッドホン端子にヘッドホンを接続する
5. 音量を調整する
   - リモコンまたは本体の音量ボタンで調整できます。



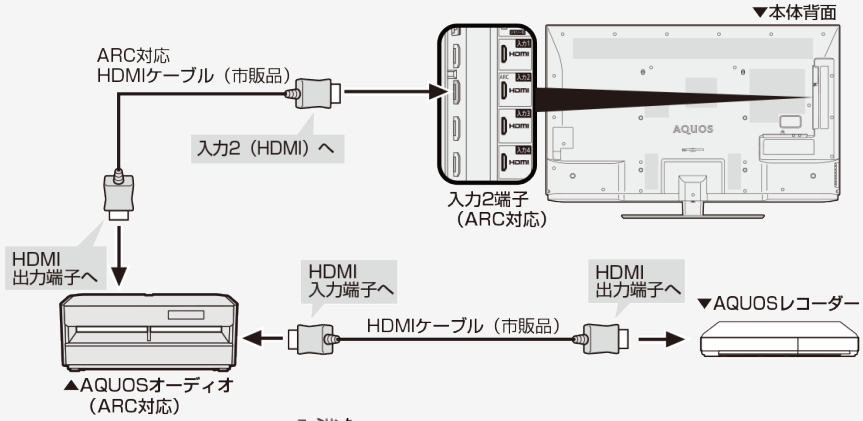
- 本体背面にボタンがある機種もあります。

基本的な使いかた

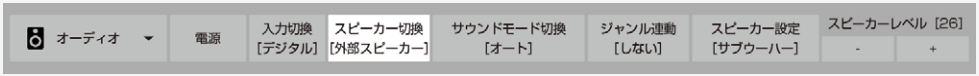
ヘッドホンで音声を聞く

お知らせ

- HDMI接続した外部スピーカーで視聴中、ヘッドホンを接続すると、スピーカー切換がTVに切り換わります。



外部スピーカーに戻すには、ファミリンク を押し、ファミリンクパネルの「スピーカー切換」を「外部スピーカー」へ設定してください。



テレビを見る



テレビ放送を見る

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。
- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なります。データ放送画面を表示したら、画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

- 連動データ放送を含む番組の視聴中に、データ[d]を押し、連動データ放送の画面を表示する



- テレビ放送に戻すときは、もう一度 データ[d]を押します。

お知らせ

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ[d]を押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約20秒待ってからもう一度データ[d]を押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- BSラジオ放送も、⇒ 2-2ページの手順で切り換えられます。

次ページへつづく⇒

テレビを見る



テレビ放送を見る

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

独立データ放送の番組から選ぶ

1. 映像調整 ツール を押し、上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「テレビ/ラジオ/データ」を選び、決定 を押す
   - 再度選び直すことによって次のように放送の種類を切り換えることができます。

     →テレビ → ラジオ → データ →

2. 選局ボタンでチャンネルを選ぶ

テレビを見る

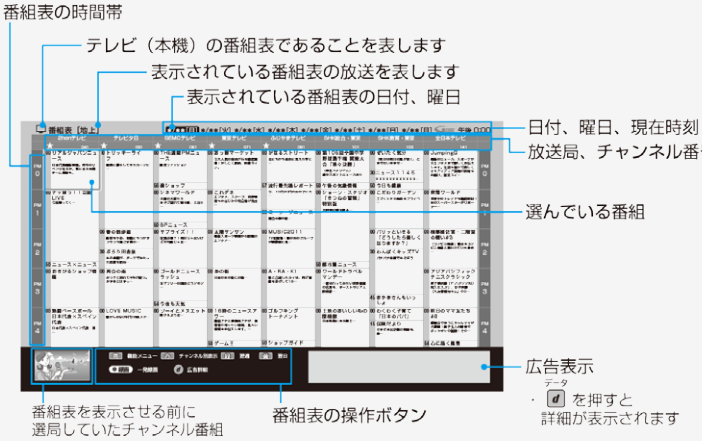
番組表を使う

放送を見ているときにリモコンの 番組表 を押すと番組表が表示されます。

- 番組表から放送番組を選ぶことができます。
  番組表が表示されない、空欄になるときは、2-6ページを確認してください。

番組表の表示について

- リモコンの 番組表 を押すと、数日分の番組表を表示できます。
  テレビ放送…8日分、データ放送…最低1日分





番組表を使う

番組表から番組を選ぶ

1. 地上 BS CS 4K を押し、表示したい放送を選ぶ
2. 番組表 を押す
3. 上下左右カーソルボタンを押し、番組を選ぶ
   - 現在放送中の番組を選んで 決定 を押すと選局されます。

ヒント

時間帯でページを送り／戻しするとき

- 次の時間帯（次ページ）を表示させたいときは 次 ▶▶| を押す
- 前の時間帯（前ページ）を表示させたいときは 前 |◀◀ を押す

翌日／ 前日の番組表を表示するとき

- 翌日の番組表を表示させたいときは 黄 を押す
- 前日の番組表を表示させたいときは 緑 を押す

通常の番組表⇔チャンネル別番組表を切り換える

■通常の番組表



■チャンネル別番組表



赤 を押す → 数日分のチャンネル別番組表を表示できます。
テレビ放送 …8 日分
データ放送 …最低1日分

通常の番組表に戻ります。 ← 赤 を押す

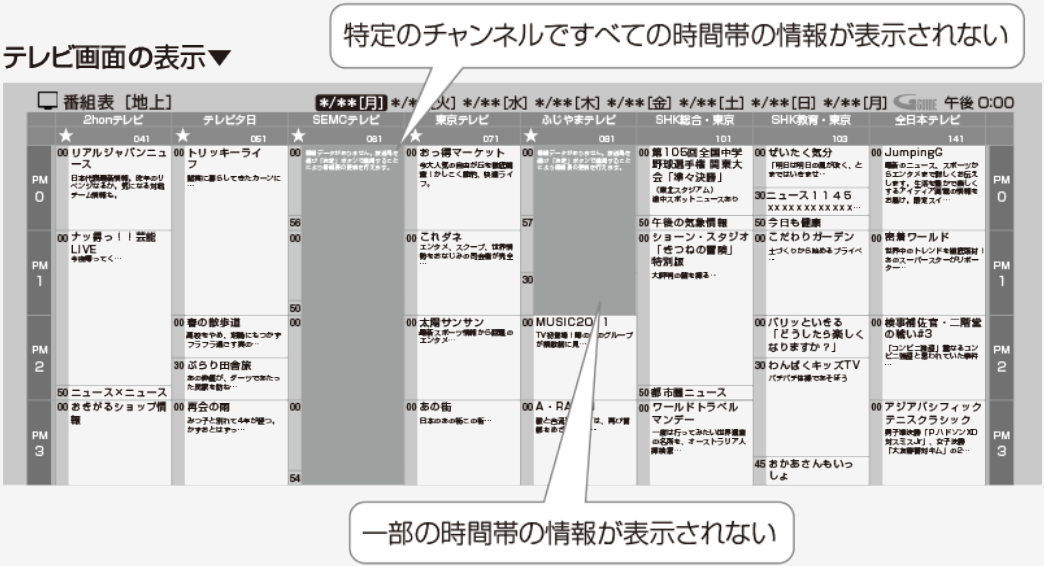
表示する放送局を選ぶ

- 次の放送局を選ぶときは 黄 を押す
- 前の放送局を選ぶときは 緑 を押す
- カーソルを放送局欄に移動し、上下カーソルボタンで選び決定しても表示させたい放送局が選べます。

電子番組表に表示されないチャンネルがあるとき

番組表データが受信できていない場合、番組表が表示されないことがあります。その場合は次の操作を行ってください。

テレビ画面の表示▼



次ページへつづく⇒



番組表を使う

電子番組表に表示されないチャンネルがあるとき

- 空欄となっているチャンネルを選局し、放送画面のまま2分程度待ちます
  - 番組表データを受信し番組表を更新します。

ヒント

- 110度CSデジタル放送の番組が表示されないときは、CS001またはCS100を一度選局してから操作してください。
- 110度CS4K放送の番組が表示されないときは、「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ放送設定」ー「BS4K・CS4K放送チャンネルサーチ」から更新してください。

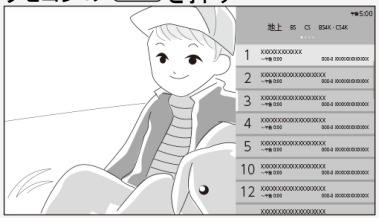
テレビを見る



裏番組を見る

- 現在放送している裏番組の一覧を表示します。
  番組名を選んでチャンネルを切り換えられます。

1. リモコンの 裏番組 を押す



2. 上下カーソルボタンで見たいコンテンツを選び 決定 を押す

お知らせ

- ホーム画面、設定メニュー表示中などは表示できません。

テレビを見る

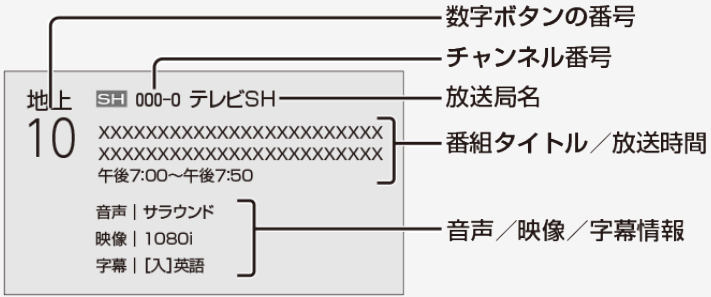


視聴中の便利な機能

チャンネル情報や時計を表示する

- テレビ放送や外部入力視聴中、時計/画面表示ボタンを押して、チャンネル情報や時計を表示することができます。
- 時計は、右上に表示されます。位置やサイズは、変更できません。

1. 画面表示 時計 を押して情報を表示する





視聴中の便利な機能

チャンネル情報を常に表示する

- 選局時などのチャンネル情報の表示について常時表示することができます。
- 時刻が設定されていない場合は、「ツール」ー「基本設定」ー「日付と時刻」ー「日付と時刻の自動設定」で「同期しない」を選び、「時刻の設定」で、時刻を設定してください。普段お使いになるときは、一部アプリの利用に時刻が必要になるため、「日付と時刻の自動設定」で「ネットワークの時刻と同期」または「放送の時刻と同期」に設定していただくことをおすすめします。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「テレビ機能設定」を選び、決定 を押す
2. 上下カーソルボタンで「画面表示設定」を選び、決定 を押す
3. 「チャンネル常時表示」を選び、決定 を押す（⇒6-26ページ）

テレビを見る

視聴中の便利な機能

指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

- テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「タイマー」ー「オフタイマー」を選ぶ



2. オフタイマーを「入」に設定する
   設定入:
   設定切:

3. 上下カーソルボタンで設定時間を選び、 決定 を押す
   - 「0時間30分」「1時間00分」「1時間30分」「2時間00分」「2時間30分」から選びます。
   - オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
   - オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

お知らせ

- 視聴中のアプリによっては、指定した時間に電源を切れない場合があります。

次ページへつづく⇒

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

オフタイマーの残り時間を確認するには

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「タイマー」ー「オフタイマー」を選び、決定 を押す



2. オフタイマーの残り時間を確認する

- オフタイマーが設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。

次ページへつづく⇒

テレビを見る

視聴中の便利な機能

時刻を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「タイマー」ー「おやすみタイマー」を選び、決定 を押す



2. おやすみタイマーを「入」に設定する

設定入：

設定切：

- おやすみタイマーを解除するには、「切」を選びます。

3. 上下カーソルボタンで電源を切りたい時刻を設定する

- 操作を終了する場合は、終了 を押します。

次ページへつづく⇒

時刻を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

お知らせ

- 無操作オフや無信号オフ（⇒ 6-27・6-28ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- 視聴中のアプリや一部メニュー操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れない場合があります。
- 本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻の設定」（⇒ 6-20・6-21ページ）が必要です。

テレビを見る

視聴中の便利な機能

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。
- おはようタイマーを設定すると、本体のタイマーランプが橙色に点灯します。
- 異なる設定のタイマーを3種類までセットできます。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「タイマー」ー「おはようタイマー」を選び、決定 を押す



2. 設定したいタイマーを選び、「入」に設定する
   設定入：
   設定切：

3. それぞれの項目（⇒ 6-17ページ）を設定する
   - 操作を終了する場合は、終了 を押します。

お知らせ

- ヘッドホンをつないでいる場合は、ヘッドホンから音声が出るため本体スピーカーからは音声が出ません。本体スピーカーから音声を出す場合は、あらかじめヘッドホンを抜いておいてください。

次ページへつづく⇒

テレビを見る



視聴中の便利な機能

音声・映像を切り換える

- 複数の映像（最大4つ）または音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。

複数の映像を切り換える

1. 映像調整 ツール を押して、上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「映像切換」を選び、 決定 を押す

- 「映像切換」を選ぶたびに映像※が切り換わり、テレビ画面上に映像表示が出ます。
※ 番組によって映像の数は異なります。

次ページへつづく⇒



視聴中の便利な機能

音声・映像を切り換える

複数の音声を切り換える

音声切換

を押して、音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声※が切り換わり、テレビ画面上に音声表示が出ます。
  ※番組によって音声の数が異なります。

マルチ音声番組のとき

音声１ → 音声２～８※ →

二重音声番組のとき

→ 主 → 副 →
主／副 ←

お知らせ

- 地上/BS/110度CSデジタル放送の場合、マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。



視聴中の便利な機能

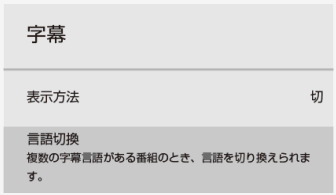
字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

字幕を表示する

- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。

◆字幕の表示方法を変えたいとき

1. 字幕を押して、字幕メニューを表示する



「表示方法」を選び、決定を押してください。

2. 上下カーソルボタンで表示方法を選び、決定を押す

アウトスクリーンの設定について

- 「アウトスクリーン(上)」または「アウトスクリーン(下)」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。
- 「アウトスクリーン(上)」の場合でも、放送で送られる字幕の行数によっては、映像の上に字幕がかかる場合があります。

お知らせ

- 表示方法が切り換わる際に、データ放送が非表示、または初期状態になる場合があります。

次ページへつづく⇒

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

	字幕放送のとき
オンスクリーン • 字幕放送では、映像に重なって字幕が表示されます。	
アウトスクリーン（上） • 字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の上側に字幕が表示されます。 • 4K放送視聴時は、オンスクリーンで表示されます。	
アウトスクリーン（下） • 字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の下側に字幕が表示されます。 • 4K放送視聴時は、オンスクリーンで表示されます。	

お知らせ

- 放送の種類によっては、アウトスクリーンに設定してもオンスクリーン表示になります。



視聴中の便利な機能

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

◆字幕の表示言語を変えたいとき

- 複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

1. 字幕を押して、字幕メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「言語切換」を選び、決定を押す



視聴中の便利な機能

映像の画質を調整する

- 見ている映像の画質を調整できます。入力、アプリ全般、HDR時ごとに設定できます。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、「映像調整」を選び 決定 を押す
2. 調整したい項目を選び、決定 を押す（→6-58～6-62ページ）

お知らせ

- AVポジションは、シャープおすすめの調整値で、映像と音声を一括で調整できます。



視聴中の便利な機能

音声を調整する

- 見ている映像の音声を調整できます。入力ごとに設定できます。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、「音声調整」を選び、 決定 を押す
2. 調整したい項目を選び、 決定 を押す（→6-68～6-74ページ）

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

- 本機で音声検索やインターネット動画を楽しむためには、インターネット環境やLAN環境が必要です。通信端末認定品の市販のルーターなどを使って、ネットワーク接続をしてください。

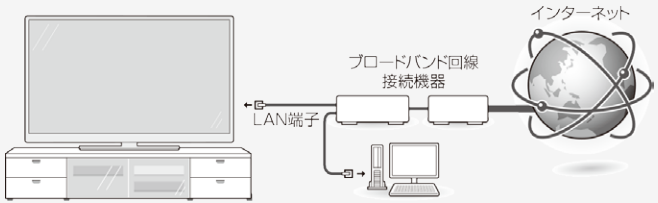
インターネット環境とLAN環境の用意のしかた

1. 本機が接続できるインターネット環境を確認する
   ⇒3-2～3-30ページ

   インターネット環境の確認
   ・⇒3-2～3-30ページ

   ブロードバンドルーターと本機を接続する
   ・⇒3-4～3-5ページ

   インターネット環境がない場合の用意のしかた
   ・⇒3-3～3-5ページ



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

インターネット環境を用意する

- すでにインターネット環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。
  （⇒3-4～3-5ページ）
- 映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機をLANケーブルでの接続をおすすめします、無線LAN接続では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。

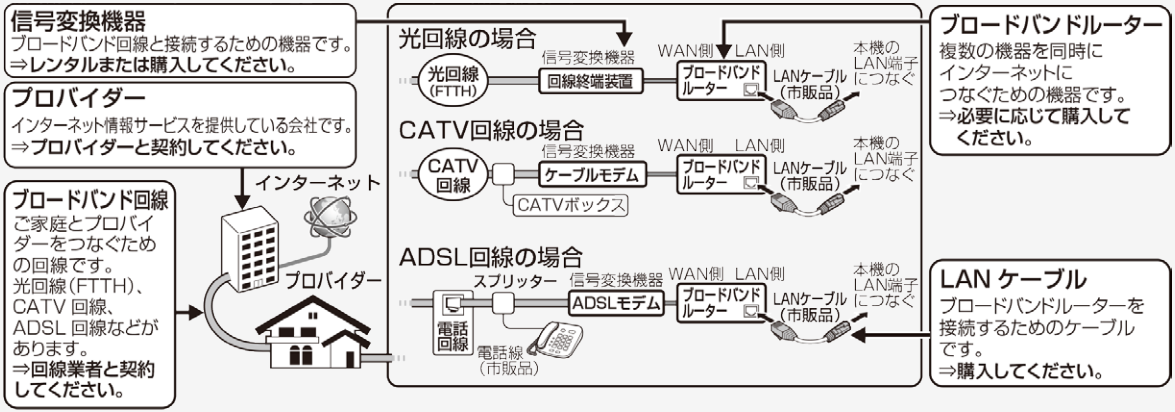
次ページへつづく⇒

インターネット環境を用意する

インターネット環境がない場合

- 下記環境をご用意ください。
  インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV回線・ADSL回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。

本機をインターネットに接続するためのインターネット環境



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

インターネット環境を用意する

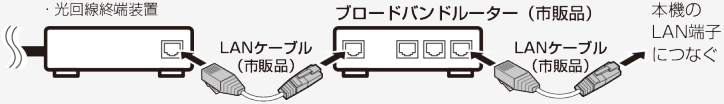
本機をインターネットに接続するためのLAN環境

- 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN側の端子をLANケーブルで接続します。

接続例 **A**

ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、
ルーター機能が付いていない場合

信号変換機器（ルーター機能なし）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置

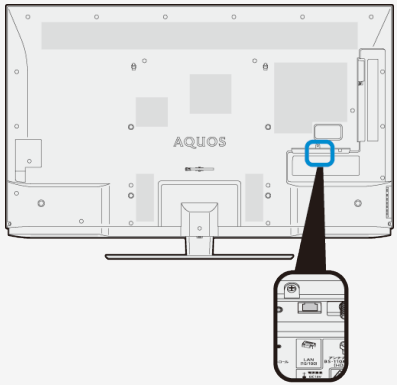


接続例 **B**

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、
LAN端子の空きがない場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置





次ページへつづく⇒

インターネット環境を用意する

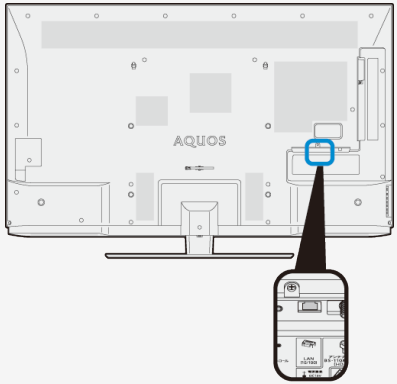
本機をインターネットに接続するためのLAN環境

接続例 C

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置





接続例 D

無線LAN環境の場合⇒3-10ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

有線LANで接続する

- 本機に有線LANケーブルを接続してください。

有線LAN接続設定を確認・変更する

- 有線LAN接続完了後、設定を確認・変更することができます。

操作のしかた

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び 決定 を押す
   - 設定内容が表示されます。



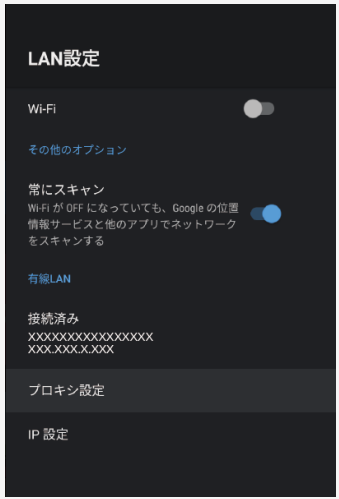
次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

有線LANで接続する

2. 設定を変更する場合は、「プロキシ設定」または「IP設定」を選んで 決定 を押す





次ページへつづく⇒

有線LAN接続設定を確認・変更する

- プロキシ設定

  プロキシを設定することができます。
  プロキシを使用する場合は「手動」を選び、設定してください。



次ページへつづく⇒

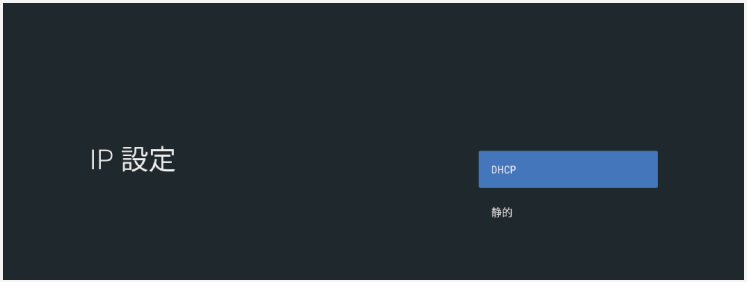
ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

有線LAN接続設定を確認・変更する

- IP設定

  IPアドレスを設定することができます。
  手動でIPアドレスを設定する場合は、「静的」を選び設定してください。

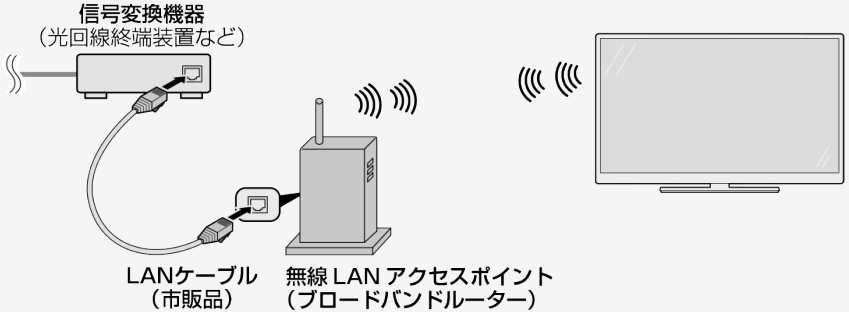


ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

無線LANで接続する場合

- ブロードバンドルーターが無線LANに対応している場合やアクセスポイント（無線LAN親機）につながっている場合は、無線LANで接続できます。
- 有線LANケーブルの配線が不要になり、使いやすく便利です。



次ページへつづく⇒

無線LANで接続する場合

お知らせ

- 無線LAN接続をご利用になる場合はアクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの説明書をご覧いただき設置、設定を行ってください。アクセスポイントは安定したワイヤレス接続のために802.11n（5GHz）方式／AES暗号化に対応した製品のご使用をおすすめします。
- 第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、初期化してください。
「データの初期化」（⇒6-45ページ）
- お使いの無線LAN環境によっては、インターネットサービスへの接続に時間がかかることがあります。
- 4K映像配信サービスのご利用には、無線LAN接続以上の通信速度が必要になる場合があります。
映像に乱れや停止などが発生する場合は、無線LAN接続ではなく、有線LAN接続してください。
（⇒3-6ページ）
- 有線LANが接続されているときは、無線LANが接続できません。無線LAN接続をする場合は、本機からLANケーブルを外してください。

次ページへつづく⇒

無線LANで接続する場合

アクセスポイントに接続する

- 無線LANに接続するには、アクセスポイント（無線LAN親機）と本機の接続設定をしておく必要があります。
- WPS対応のアクセスポイントをお使いになる場合は、WPSでの接続がおすすめです。
  WPSに対応していないアクセスポイントをお使いの場合は、「無線LAN接続設定を行う」の手順で接続の設定をしてください。
  （⇒3-14～3-16ページ）
- WPSでの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式がありますが、プッシュボタン方式で接続すると、簡単に設定することができます。
- WPSでの接続には、アクセスポイントのセキュリティ設定が、None／WPA-TKIP／WPA2-AESの必要があります。WEP設定では接続失敗するため、アクセスポイントの設定を見なおして下さい。

プッシュボタン方式

- アクセスポイントのWPSボタンを押して、自動的に接続できます。
  「プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する」（⇒3-18～3-20ページ）



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

無線LANで接続する場合

PINコード方式

- PIN（Personal Identification Number）コードとは、アクセスポイントや本機などの機器がお互いに情報をやり取りするときに機器の識別に利用するための識別番号のことです。
- PINコードを手動で入力して接続の設定をします。
「PINコード方式でアクセスポイントに接続する」（⇒3-21～3-23ページ）



お知らせ

- Wi-Fi接続設定をした後で有線LAN接続に切り換えたい場合は、Wi-Fiをネットワークから切断してください。
- 「ツール」ー「基本設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」で「Wi-Fi」を選んで 決定 を押すと「切」になります。

無線LAN接続設定を行う

この操作を行うまえに、本機のインターネット環境とLAN環境を確認してください。
「インターネット環境とLAN環境の用意のしかた」
(⇒3-1ページ)

事前にアクセスポイント(市販品)の「SSID」とパスワード(KEYやPINなど)を確認してください。



1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び 決定 を押す



次ページへつづく⇒

無線LAN接続設定を行う

2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、決定を押して「入」にしてください。



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

無線LAN接続設定を行う

3. 「利用可能なネットワーク」から「SSID（アクセスポイントの名称）」選び、 決定 を押す
   - 接続したい「SSID（アクセスポイントの名称）」が表示されない場合は「すべて表示」から選択してください。
   - WPS経由の接続をする場合は「WPS経由の接続」を選択してください。
     （⇒6-3ページ）
   - 「新しいネットワークを追加」から、新たにネットワークを追加することができます。
4. アクセスポイントのパスワードを入力する



次ページへつづく⇒

無線LAN接続設定を行う

無線設定を行う

- 接続ができない場合は、「無線LAN接続設定を確認する」の手順でネットワークの設定を確認してください。
（⇒3-24～3-26ページ）
- 無線接続が選ばれていて接続ができない場合は、「無線LANで接続できない」の手順で無線接続設定を確認してください。
（⇒7-23ページ）

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

プッシュボタン方式とは

- アクセスポイントのWPSボタンを押して、無線LANの接続を自動設定する方法です。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び 決定 を押す
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、 決定 を押して「入」にしてください。



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

3. 「WPS経由の接続」を選び、決定を押す
4. 「プッシュボタン」を選び、決定を押す



5. アクセスポイントのWPSボタンを押す

次ページへつづく⇒

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

- WPSボタンとは、無線LAN自動接続のためのボタンです。
- アクセスポイントによっては、WPSボタンの名称が異なる場合や、ボタンを数秒間押し続ける必要があります。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントのWPSボタンを押すと、無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了すると、接続の内容が表示されます。
- 操作を終了する場合は、終了を押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。
  それでも接続できない場合は、「無線LANで接続できない」をご覧ください。
  （⇒7-23ページ）

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

PINコード方式でアクセスポイントに接続する

PINコード方式とは

- PINコードを入力して無線LANの接続を設定する方法です。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び 決定 を押す
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、 決定 を押して「入」にしてください。



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

PINコード方式でアクセスポイントに接続する

3. 「WPS経由の接続」を選び、決定を押す
4. 「PINコード」を選び、決定を押す
5. 表示されたPINコードを、アクセスポイントに設定する。
   - 設定のしかたは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。



次ページへつづく⇒

PINコード方式でアクセスポイントに接続する

- 操作を終了する場合は、終了を押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。
  それでも接続できない場合は、「無線LANで接続できない」をご覧ください。
  （⇒7-23ページ）

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

無線LAN接続設定を確認する

- 無線LAN接続完了後、設定を確認することができます。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び 決定 を押す
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、 決定 を押して「入」にしてください。



次ページへつづく⇒

無線LAN接続設定を確認する

3. 接続したアクセスポイントのSSID（アクセスポイントの名称）を選び、 決定 を押す



4. 無線LAN接続設定を確認する

次ページへつづく⇒

無線LAN接続設定を確認する

- インターネット接続
  ネットワークの接続状態が表示されます。
- IPアドレス
  本機のIPアドレスが表示されます。
- MACアドレス
  本機のMACアドレスが表示されます。
- 電波強度
  電波強度が表示されます。
  「強」になるようにアクセスポイントの位置を調整してください。

次ページへつづく⇒

無線LAN接続設定を変更する

無線LAN接続設定完了後、設定を変更することができます。

1. 映像調整 [ツール]を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び (決定)を押す
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、(決定)を押して「入」にしてください。



次ページへつづく⇒

無線LAN接続設定を変更する

無線LAN接続設定完了後、設定を変更することができます。

3. 接続したアクセスポイントのSSID（アクセスポイントの名称）を選び、 決定 を押す



4. 無線LAN接続設定を変更する

次ページへつづく⇒

無線LAN接続設定を変更する

「プロキシ設定」

プロキシを設定することができます。
プロキシを使用する場合は「手動」を選び、設定してください。



「IP設定」

IPアドレスを設定することができます。
手動でIPアドレスを設定する場合は、「静的」を選び設定してください。



無線LAN接続設定を変更する

IPアドレスの入力のしかた

1. 入力欄を選び、決定を押す
   - ソフトウェアキーボードが表示されます。
2. 文字を入力する
   - 画面に従って入力してください。

お知らせ

IPアドレスについて

- TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットワークの設定を確認する

次のことを確認してください。

- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- ブロードバンドルーターのDHCP機能（IPアドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。DHCP機能を使用しない場合は、IP設定でIPアドレスなどを入力してください。
（⇒3-29ページ）
- 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN端子が、正しく接続されていますか。

次ページへつづく⇒

ネットワークの設定を確認する

LAN設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

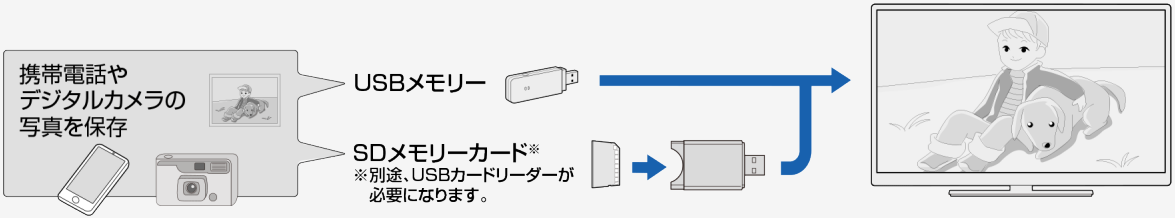
- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSLモデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSLモデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- インターネット環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

アプリを使う

コンテンツプレーヤー

- USBメモリーに保存されている写真・音楽・動画をコンテンツプレーヤーで再生することができます。



本機に取り付けられるUSBメモリーについて

USB端子に取り付けられる機器
- USBメモリー、USBカードリーダー（マスストレージクラス）

ファイルシステム
- FAT、FAT32

お知らせ

- プログレッシブ形式のjpegファイルはサポートされていません。
- 3D形式の写真はサポートされていません。
- USB1.1の装置に入っている音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。

本機に取り付けられるUSBメモリーについて

USBメモリーの取り付け・取りはずしについて

- スライドショー中、画面切り換え中、または「コンテンツプレーヤー」を終了する前に、USBメモリーを本機から取り外さないでください。
- USBメモリーの抜き差しをむやみに繰り返さないでください。
- USBカードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをUSBカードリーダーに挿入し、その後USBカードリーダーを本機に接続してください。
- USBメモリーを本機のUSB端子に接続する場合、USB延長ケーブルは使わないでください。
  USB延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USBメモリーを取りはずすときは、「ツール」ー「基本設定」ー「ストレージとリセット」ー「リムーバブルストレージ」から対象のUSBメモリーを選択し、「取り外し」を選択してください。
- 電源起動時、USBメモリーが接続されていると自動で認識し、検出画面が表示されます。(クイック起動「入」時除く)そこからコンテンツプレーヤーを起動できます。検出画面を表示しないようにするには、本体の電源を切った状態で、USBメモリーを取り外してください。

本機で再生できるUSBメモリーのファイルについて

写真ファイル形式

- JPEG(.jpg)(DCF2.0準拠)
  最大解像度(画像サイズ):8192x8192画素
  最小解像度(画像サイズ):32x32画素

音楽ファイル形式

- MP3(.mp3)
  ビットレート:32～320kbps
  サンプリング周波数:32k, 44.1k, 48kHz
- WAV(.wav)
  ビットレート:64～1536kbps(LPCM)
  サンプリング周波数:32k、44.1k、48kHz
- WMA(.wma)
  ビットレート:32～384kbps
  サンプリング周波数:8k、11.025k、16k、22.05k、32k、44.1k、48kHz
- AAC(.m4a／.aac)
  ビットレート:1～1728kbps
  サンプリング周波数:
  8k、11.025k、12k、16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48kHz(AAC)
  16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48kHz(HE-AAC)

次ページへつづく⇒

本機で再生できるUSBメモリーのファイルについて

音楽ファイル形式（つづき）

- FLAC（.flac）
  ビットレート：128～2304kbps
  サンプリング周波数：8k、16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48k、88.2k、96k、192kHz
  量子化ビット数：8、16、24bit

映像ファイル形式

- m2ts、mp4、3gp

お知らせ

- USBメモリー機器によっては、保存されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- 対応のファイル形式であっても、正しく再生されないことがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。

アプリを使う



コンテンツプレーヤー

写真を表示する

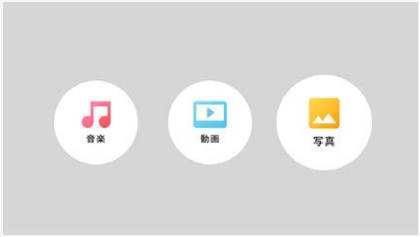
- USBメモリーにある写真を表示できます。

操作のしかた

1. アプリを押してアプリー覧画面を表示し、「コンテンツプレーヤー」アプリを選び、決定を押す



2. 左右カーソルボタンで「写真」を選び、決定を押す



次ページへつづく⇒



コンテンツプレーヤー

写真を表示する

3. 上下左右カーソルボタンで写真を選び、決定を押す

- 写真のスライドショーが開始されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の画像が表示されます。

お知らせ

- 画面の左上に、ファイル名、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。
- 画面サイズの切り換えはできません。
- 写真データによっては、サムネイルが表示されないことがあります。
- 縦位置で撮影した写真でも、サムネイルは横位置で表示されることがあります。



コンテンツプレーヤー

写真表示中の操作について

お知らせ

- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続を確認してください。

写真を表示中の操作

同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。

黄 機能メニューを表示します。



コンテンツプレーヤー

スライドショーの設定をする

1. 写真のスライドショー表示中に 黄 を押し、機能メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで設定を選び、決定を押す

設定項目は⇒4-9ページ以降をご覧ください。

次ページへつづく⇒

スライドショーの設定をする

写真表示中の機能メニュー

リピート
- スライドショーのリピート設定をします。

シャッフル
- フォルダ内の画像をシャッフルしてスライドショー表示します。

時間
- 次の写真に切り換わるまでの時間を設定します。
- 写真によっては設定時間どおりに表示が切り換わらない場合があります。

エフェクト
- 写真が切り換わるときの視覚効果を設定します。

回転
- 表示中の写真を回転することができます。

ズーム
- 表示中の写真を拡大することができます。

お知らせ

- 回転とズームはスライドショー中に 決定 を押し、一時停止した状態で機能メニューを表示すると表示されます。

アプリを使う



コンテンツプレーヤー

音楽を再生する

- USBメモリーにある音楽を再生できます。

1. アプリを押してアプリー覧画面を表示し、「コンテンツプレーヤー」アプリを選び、決定を押す



次ページへつづく⇒

アプリを使う



コンテンツプレーヤー

音楽を再生する

2. 左右カーソルボタンで「音楽」を選び、決定を押す



3. 上下左右カーソルボタンで曲名を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

音楽を再生する

- 音楽が再生されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の音楽の一覧が表示されます。

お知らせ

- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、再生バーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。



コンテンツプレーヤー

音楽再生中の操作のしかた

再生 音楽を再生します。

静止 音楽の再生を一時停止します。

停止 音楽の再生を停止します。

黄 機能メニューを表示します。

戻る 一覧表示に戻ります。

終了 コンテンツプレーヤーを終了します。

音楽再生中の機能メニュー

リピート
- リピート再生の設定をします。

シャッフルオン／シャッフルオフ
- フォルダ内の音楽をシャッフルして再生します。

スペクトラム表示／スペクトラム非表示
- スペクトラムを表示または非表示にします。

歌詞
- 歌詞の表示タイプを変更することができます。USBメモリー内に歌詞ファイルがあるときのみ利用できます。文字コードがUTF-8の歌詞ファイルのみサポートされています。

アプリを使う



コンテンツプレーヤー

動画を再生する

- USBメモリーにある動画を再生できます。

1. アプリを押してアプリー覧画面を表示し、「コンテンツプレーヤー」アプリを選び、決定を押す



2. 左右カーソルボタンで「動画」を選び、決定を押す



次ページへつづく⇒



コンテンツプレーヤー

動画を再生する

3. 上下左右カーソルボタンで動画を選び、決定を押す
   - 動画が再生されます。
   - フォルダを選んだときはフォルダ内の動画の一覧が表示されます。

お知らせ

- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、再生バーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。
- 本機で再生できない動画が表示されることもあります。
- 表示される動画は、正常に再生できることを保証するものではありません。



コンテンツプレーヤー

動画再生中の操作のしかた

動画再生中の操作について

- 一時停止や再生などの操作ができます。
- 動画によっては操作できない場合があります。

再生	動画を再生します。
静止	動画の再生を一時停止します。
早戻し	動画を早戻しします。繰り返し押すと早戻しの速度が速くなります。
早送り	動画を早送りします。繰り返し押すと早送りの速度が速くなります。
停止	動画の再生を停止します。
黄	機能メニューを表示します。
戻る	一覧表示に戻ります。
終了	コンテンツプレーヤーを終了します。

動画再生中の機能メニュー

リピート

- リピート再生の設定をします。

アプリを使う



ホームネットワーク

- ホームネットワーク経由で映像・写真・音楽を本機で再生させることができます。(リモート再生機能)
- 対応機器についてはSHARP Webページ内 AQUOSサポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ

シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索

https://jp.sharp/support/aquos/
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

接続するサーバー機器について

- 本機のホームネットワークをご利用になるときには、あらかじめサーバー機器をホームネットワークを利用できる状態にしておいてください。
- サーバー機器側を利用できる状態にするには設定が必要な場合があります。サーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご確認ください。
- サーバー機器は最大10台まで選択できます。

お知らせ

- 本機は、サーバー機能は非対応となります。

次ページへつづく⇒



ホームネットワーク

操作のしかた

1. アプリ を押してアプリ一覧画面を表示し、「ホームネットワーク」アプリを選び、決定 を押す



2. 利用したいサーバー機器を選び、決定 を押す
3. 画面に従って操作する

本機で再生できるサーバー上の写真について

- ホームネットワーク上のDLNA認定サーバーに保存されているJPEGファイルを再生できます。

お知らせ

- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。
- パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- プログレッシブ形式のJPEGはサポートされていません。
- JPEG静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。

本機で再生できるサーバー上の音楽について

- ホームネットワーク上のDLNA認定サーバーに保存されている音楽データを再生できます。

本機で再生できる音楽データの形式

- LPCM：サンプリング周波数32/44.1/48kHz、stereo/mono
- MP3：サンプリング周波数32/44.1/48kHz、stereo/mono
- AAC：サンプリング周波数32/44.1/48kHz、stereo/mono

お知らせ

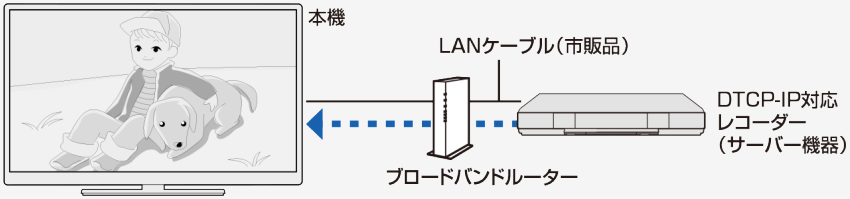
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。
  パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- ホームネットワークではFLACファイルは再生できません。

本機で再生できるサーバー上の動画について

- DTCP-IP対応レコーダーに保存されているデジタル放送の番組やサーバーに保存されている動画を再生できます。

DTCP-IPとは

- DTCP-IPは、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ(1回だけ録画可能なテレビ番組など)を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IPは、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。



本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- MPEG2-PS、MPEG2-TTS、MP4形式の動画が再生できます。

次ページへつづく⇒

本機で再生できるサーバー上の動画について

お知らせ

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送のSTB（セットトップボックス）やCATV（ケーブルテレビ）のSTB（セットトップボックス）から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を全て保証するものではありません。レコーダーが配信可能な動画データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない（映像・音声が正常に再生されない）場合がありますが、故障ではありません。

次ページへつづく⇒

本機で再生できるサーバー上の動画について

DTCP-IP対応レコーダーの取扱説明書またはWebページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。(プレイリストは不可など)
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の動画を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況(使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など)によっては、動画をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機にサーバー名が表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーでBD/DVDの再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはHDD(ハードディスク)に記録されている映像のみ配信できます。BDやDVDの映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機のMACアドレスを登録する必要があります。
- 無線LAN環境でDTCP-IPにより著作権保護された映像を再生するには、無線LANのセキュリティ設定を行う必要があります。また、著作権保護された映像を安定して受信するためには、802.11a/n(5GHz)方式とAES暗号化によるセキュリティ設定を組み合わせてご利用いただくことをおすすめします。
- 無線LANを使用するときは、「無線LAN使用上のご注意」(⇒同梱の取扱説明書「使用上のご注意」)をご確認ください。

ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できるAQUOSレコーダーは3台までです。
- HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 下記の場合は、ハイスピードタイプのHDMIケーブルをお使いください。
  −4K出力に対応した機器をつなぐとき
  −1080pの映像信号を入力するとき
- 4K60p映像やUltra HD ブルーレイ、ドルビービジョンなどのHDR映像を再生する場合は、18Gbps対応の「プレミアムHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1～4のいずれかに接続してください。また、「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「HDMI対応信号モード」を「フルモード」にしてください。（⇒6−7ページ）
- ここで説明している接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

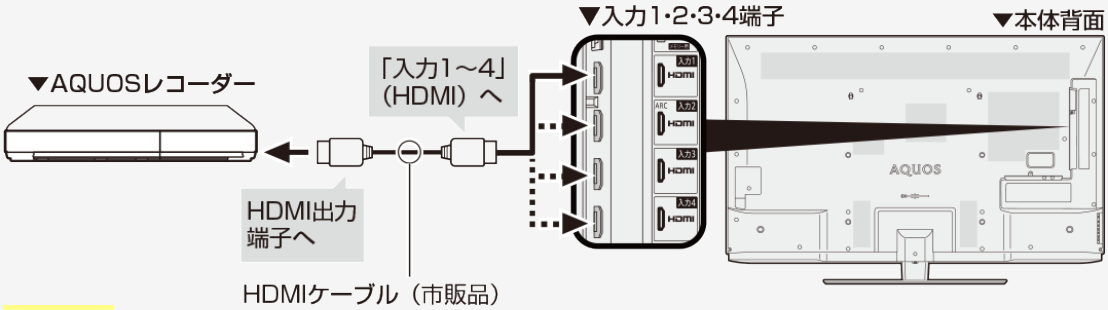
◆重要◆

- HDMIケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力1～4に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

AQUOSレコーダーのみをつなぐとき



お知らせ

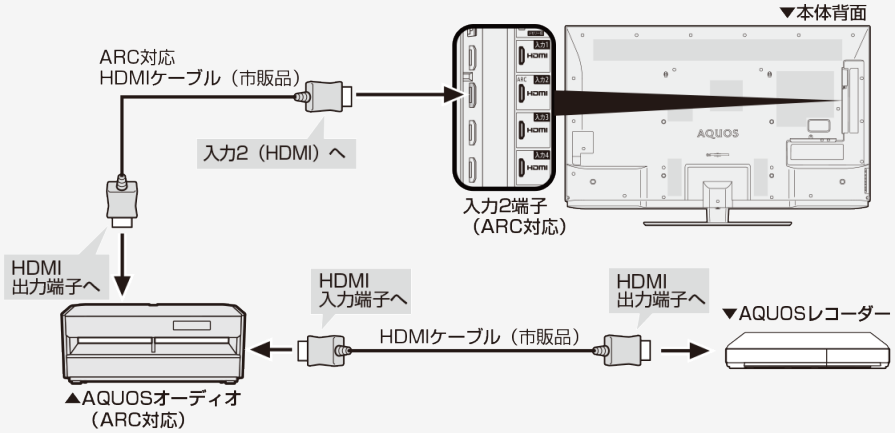
BDレコーダーなど他の機器を接続したとき、テレビの放送が映らなくなった場合は、次のことを確認してください。

- アンテナ線はBDレコーダーとテレビの両方に接続していますか。
- 地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子を間違えていませんか。
- BDレコーダーを経由してテレビにアンテナ線を接続しているときは、BDレコーダーのアンテナ入力とアンテナ出力を間違えて接続していませんか。
- BDレコーダーの電源を切るとテレビでBS・110度CSデジタル放送が映らなくなるときは、テレビのアンテナ電源を「入」にしてください。（⇒8-1～8-5ページ）

AQUOSオーディオ（ARC対応）を同時につなぐとき

本機の入力2（HDMI）端子につないでください。

- 本機の入力2（HDMI）端子はARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。本機の入力2（HDMI）端子にARC対応のAQUOSオーディオをつなぐと、本機からAQUOSオーディオへの音声出力もHDMIケーブル1本で可能です。
- ARCに対応したHDMIケーブルをお使いください。ARCに対応していないHDMIケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。

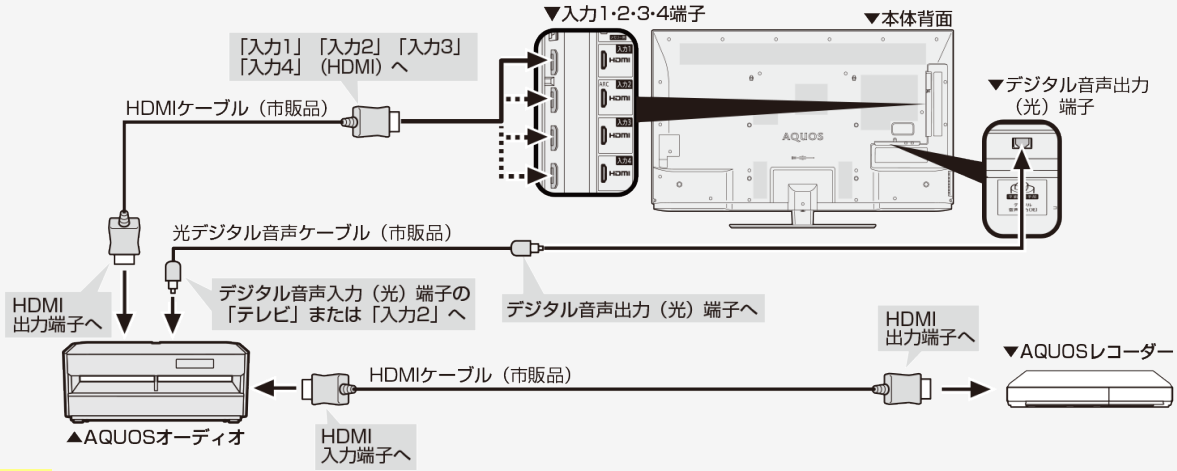


ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

AQUOSオーディオ（ARC非対応）を同時につなぐとき

- 本機からAQUOSオーディオに音声信号を出力するために、本機とAQUOSオーディオを光デジタル音声ケーブルで接続してください。



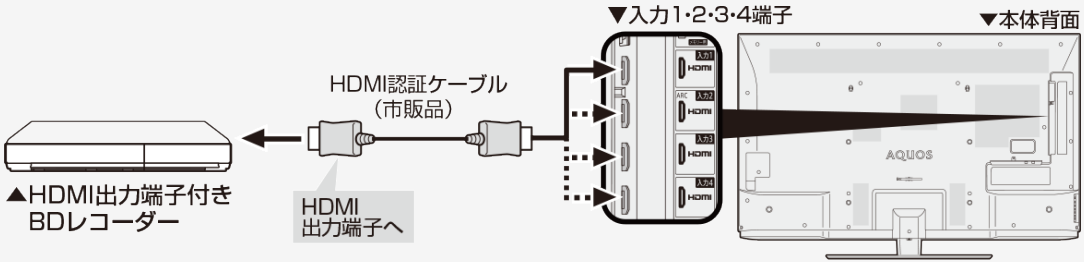
お知らせ

- デジタル音声出力(光)端子に接続するときは、方向をよく確かめて下方向からまっすぐ差し込んでください。無理な力を加えると、端子が破損するおそれがあります。（⇒5-26ページ）

ファミリンクや他機器

4K出力対応機器をつなぐ

4K出力対応BDレコーダーをつなぐ



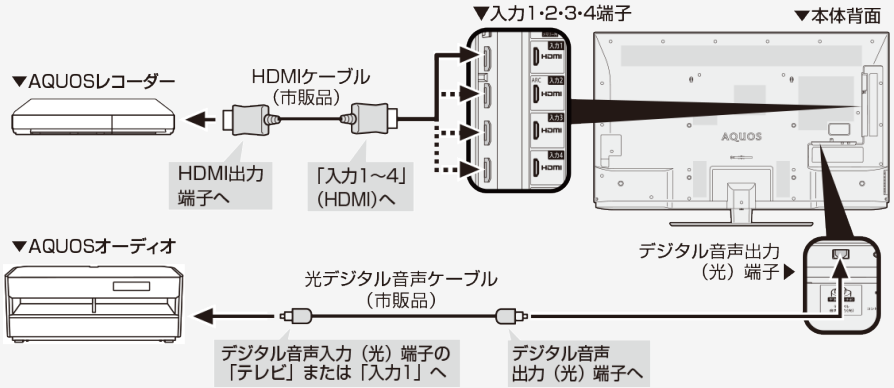
お知らせ

- HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品(ハイスピードタイプ)をご使用ください。
- 4K60p映像やUltra HD ブルーレイ、ドルビービジョンなどのHDR映像を再生する場合は、18Gbps対応の「プレミアムHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1～4のいずれかに接続してください。また、「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「HDMI対応信号モード」を「フルモード」にしてください。(⇒6-7ページ)

ファミリンクや他機器

4K出力対応機器をつなぐ

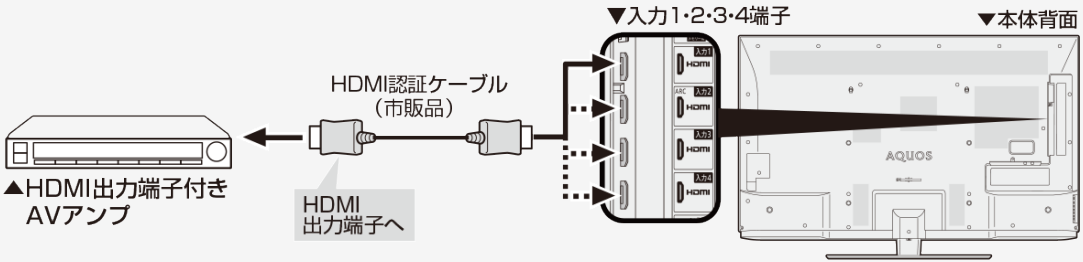
4K信号非対応のAQUOSオーディオをつなぐ



お知らせ

- HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品(ハイスピードタイプ)をご使用ください。
- 4K60p映像やUltra HD ブルーレイ、ドルビービジョンなどのHDR映像を再生する場合は、18Gbps対応の「プレミアムHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1～4のいずれかに接続してください。また、「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「HDMI対応信号モード」を「フルモード」にしてください。(⇒6-7ページ)
- デジタル音声出力(光)端子に接続するときは、方向をよく確かめて下方向からまっすぐ差し込んでください。
  無理な力を加えると、端子が破損するおそれがあります。(⇒5-26ページ)

4K出力対応AVアンプをつなぐ

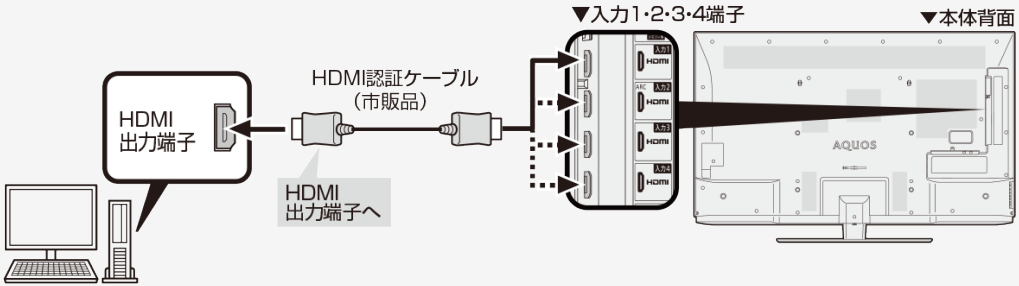


お知らせ

- HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品(ハイスピードタイプ)をご使用ください。

4K出力対応パソコンをつなぐ

- 4K出力（解像度3840×2160出力）に対応しているパソコンをご使用ください。



お知らせ

- HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品(ハイスピードタイプ)をご使用ください。
- 4K60p映像を表示する場合は、18Gbps対応の「プレミアムHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1～4のいずれかに接続してください。また、「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「HDMI対応信号モード」を「フルモード」にしてください。（⇒6-7ページ）

ファミリンクや他機器



HDR映像を見る

- 本機はUltra HD ブルーレイで採用の「HDR10」方式、新4K衛星放送で採用の「HLG(Hybrid Log-Gamma)」方式、「Dolby Vision(ドルビービジョン)」方式のHDR(ハイダイナミックレンジ)規格に対応しています。
  HDR映像には従来より多くの輝度情報が収録されており、明暗差の大きな映像などで従来は表現できなかった明部・暗部の階調表現が可能となり、高コントラストでリアリティ溢れる映像を再現します。
- 本機でHDR映像を視聴する場合は、入力1～4のいずれかにHDR対応機器を接続し、「HDMI対応信号モード」を「フルモード」に設定してください。

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで「入力1」～「入力4」のいずれかを選び、決定を押す
2. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「HDMI対応信号モード」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「フルモード」を選び、決定を押す

お知らせ

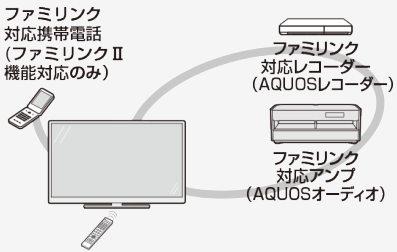
- 「フルモード」設定時、「明るさセンサー」(⇒ 6-60ページ)と「明るさ」(⇒ 6-60ページ)は、HDR映像コンテンツとSDR映像コンテンツで別々に調整が可能です。
- 入力1・2・3・4を別々に設定することはできません。

ファミリンクや他機器

ファミリンクで使う

ファミリンクとは

- HDMI端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMIケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格－HDMI CEC（Consumer Electronics Control）－を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。
本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOSレコーダー）やAVアンプ（AQUOSオーディオ）をHDMI認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、連動操作が楽しめます。



お知らせ

- ファミリンクの対応機種についてはSHARP Webページ内のAQUOSサポートページ「機能別情報→AQUOSファミリンクについて」をご覧ください。

AQUOS サポートページ
シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索
https://jp.sharp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOSレコーダーは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機にはi.LINK端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載のAQUOSレコーダーと接続したときi.LINK録画（2番組同時録画）は働きません。

ファミリンクや他機器

ファミリンクで使う

ファミリンク機能を使う前に

1. ファミリンク対応機器とつなぐ
   ⇒5-1～5-4ページ
   - 市販品のHDMI認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器と本機をつないでください。
2. 設定をする
   - ファミリンク機能を使うための設定が必要です。(⇒ 6-6・6-17ページ)
   - AQUOSレコーダー側の設定も必要です。⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。
3. ファミリンクで楽しむ
   - ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。
     ⇒5-12ページ
   - 再生してみましょう。
     ⇒5-14～5-17ページ
   - AQUOSオーディオを使ってみましょう。
     ⇒5-18ページ

ファミリンクや他機器



ファミリンクで使う

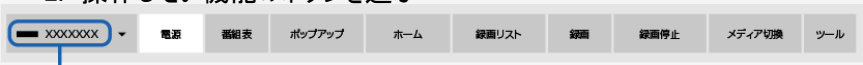
ファミリンクパネルの操作のしかた

ファミリンクパネルは、HDMIで接続した機器の一部操作を本機からできる機能です。表示内容や動作は機器により異なり、接続機器によっては、動作しない場合もあります。

◆重要◆

- ファミリンクパネルをご利用になるには、「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「ファミリンク」ー「ファミリンク制御（連動）」を「入」に設定してください。

1. ファミリンク を押し、操作したい機器を選び、決定 を押す
2. 操作したい機能のボタンを選ぶ



操作機器名

お知らせ

- プレーヤーやAQUOSオーディオと接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

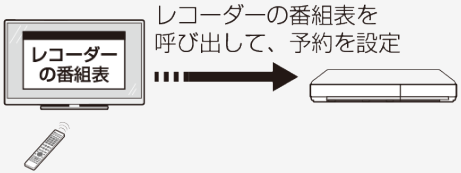
次ページへつづく⇒

ファミリンクや他機器



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーの番組表を呼び出して録画予約する



1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「録画予約するレコーダー」を選び、決定 を押す
2. 左右カーソルボタンで「番組表」を選び、決定 を押す
   - レコーダー側の番組表が表示されます。
3. 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする
   - レコーダー側の番組表は本機のリモコンの



で操作します。
（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーを再生する

視聴するHDMI対応のレコーダーを選ぶ

- 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選びます。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで視聴したい機器を選び 決定 を押す

次ページへつづく⇒



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーを再生する

AQUOSレコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ、レコーダーの「連動起動」を「入」に設定する必要があります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで表示したいレコーダーを選び、左右カーソルボタンで録画リストを選ぶ
2. 再生したい番組（タイトル）を選び再生する
   - 録画リストは本機のリモコンの 決定 終了 戻る 青 赤 緑 黄 で選択などの操作ができます。
   - 選んだ番組が再生されます。
   - 停止したいときは 停止 を押します。
   - 停止したときは、切り換わった入力のままです。

次ページへつづく⇒



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーを再生する

AQUOSレコーダーの録画リストから再生する

お知らせ

- AQUOSレコーダーがDVDモードになっていてDVDビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。ファミリンク を押し、左右カーソルボタンと 決定 で「メディア切換」を選んで、AQUOSレコーダーのモードを切り換えてください。

次ページへつづく⇒



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーを再生する

最後に再生または録画した番組を再生する（ワンタッチプレー）

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーを操作できます。

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで再生したいAQUOSレコーダーを選び、決定を押す
2. 再生 を押す

再生中の操作について

- リモコンの 早戻し 再生 早送り 停止 静止 前 次 で操作が行えます。

お知らせ

- リモコンの 10秒戻し 30秒送り は、機器によっては動作しない場合があります。

ファミリンクや他機器

ファミリンクで使う

AQUOSオーディオで聞く

- AQUOSオーディオで音声が楽しめます。（本機のスピーカーからは音が出ません。）
- 本機のリモコンでAQUOSオーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のAQUOSオーディオをつないだときは

- 「ARC（オーディオリターンチャンネル）」は、テレビのチューナーの音声をHDMIケーブルを使ってAVアンプなどに伝送する機能です。
- 本機とARC対応のAQUOSオーディオをHDMIケーブル一本で接続することができます。　この機能は、入力2端子に接続したときのみ使えます。

番組内容に適した音に切り換える

- デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。

1. ファミリンク を押し、ファミリンクパネルを表示する
2. 左右カーソルボタンで「ジャンル連動」を選び、 決定 を押す

お知らせ

- DVD映像はジャンル情報がありません。自動でサウンドモードが切り換わりませんので、AQUOSオーディオ側で適切なサウンドモードに切り換えてください。
- サウンドモードについて詳しくはAQUOSオーディオの取扱説明書をご覧ください。

ファミリンクや他機器

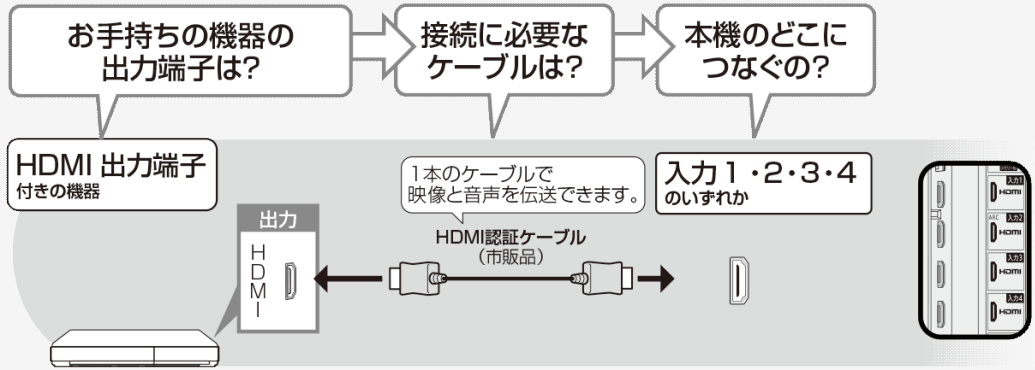
レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

HDMI端子で接続するには

- お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

お知らせ

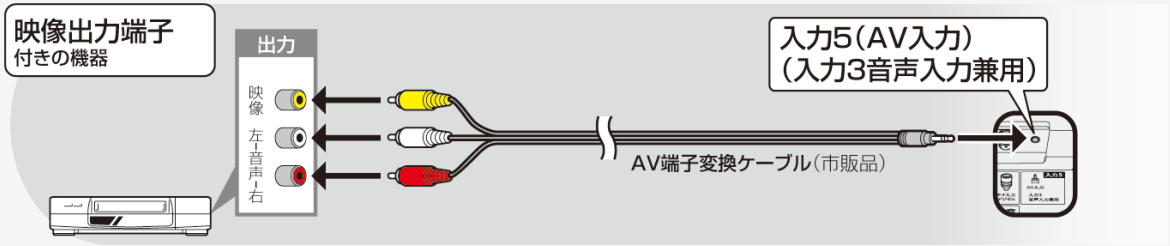
- 映像の種類と画質について⇒ 5-23・8-27～8-28ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- 接続については、⇒ 5-22ページをご覧ください。
- ファミリンク対応レコーダーと接続したときは、本機のリモコンでレコーダーを操作できます。
  ⇒5-1ページ



ファミリンクや他機器

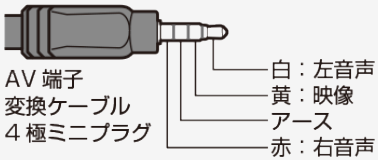
レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

映像端子で接続するには



お知らせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル（市販品）を使用してください。
- レコーダーやプレーヤーで市販のBDを視聴するときは、HDMIケーブルで接続してください。著作権保護技術を採用したレコーダーやプレーヤーからブルーレイディスクの映像や音声が出力されない機器があります。



よりきれいな映像を楽しむためには

接続するときに気をつけること

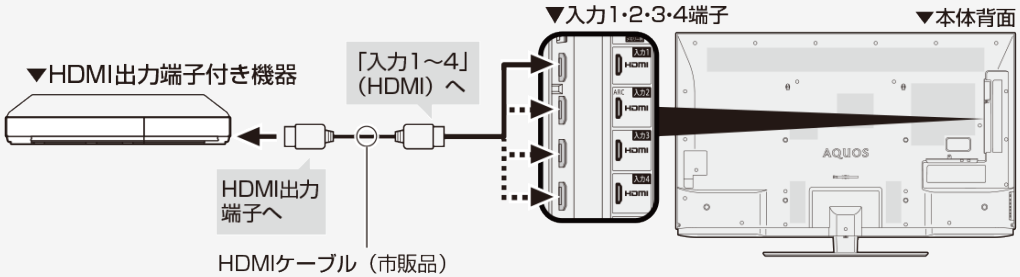
- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。
- レコーダーやプレーヤー側の接続端子について詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を合わせてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

HDMI出力端子が付いた機器の場合

- HDMI端子は、映像と音声の信号を1本のHDMI認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる端子です。
- 必ず市販のHDMI規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。
  規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。
- 下記の場合は、ハイスピードタイプのHDMIケーブルをお使いください。
  —4K出力に対応した機器をつなぐとき
  —1080pの映像信号を入力するとき
- 4K60p映像やUltra HD ブルーレイのHDR映像を再生する場合は、18Gbps対応の「プレミアムHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1～4のいずれかに接続してください。また、「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「HDMI対応信号モード」を「フルモード」にしてください。（⇒6-7ページ）



次ページへつづく⇒

ファミリンクや他機器

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

HDMI出力端子が付いた機器の場合

対応している映像信号

- 3840×2160(24Hz/30Hz/60Hz※)、1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、720p(30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+

対応している音声信号

- 種類:リニアPCM(2ch、5.1ch)、AAC※、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス
  サンプリング周波数:48kHz／44.1kHz／32kHz

※デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

お知らせ

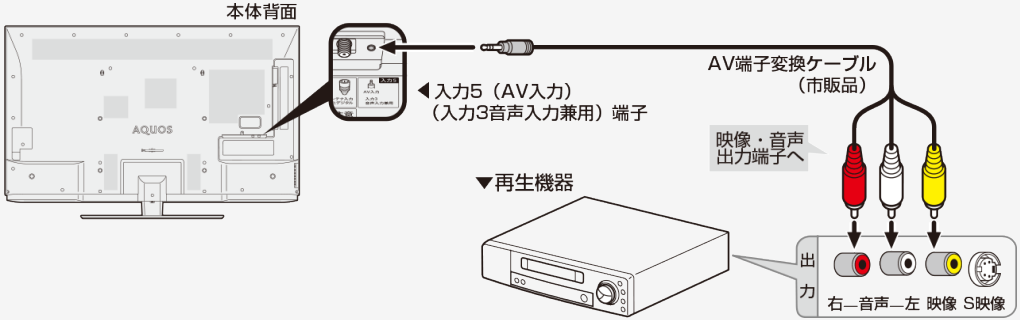
- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御(連動)」を「切」に設定してください。
  (⇒6-6ページ)

ファミリンクや他機器

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

映像出力端子が付いた機器の場合（再生するときの接続）

- 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。



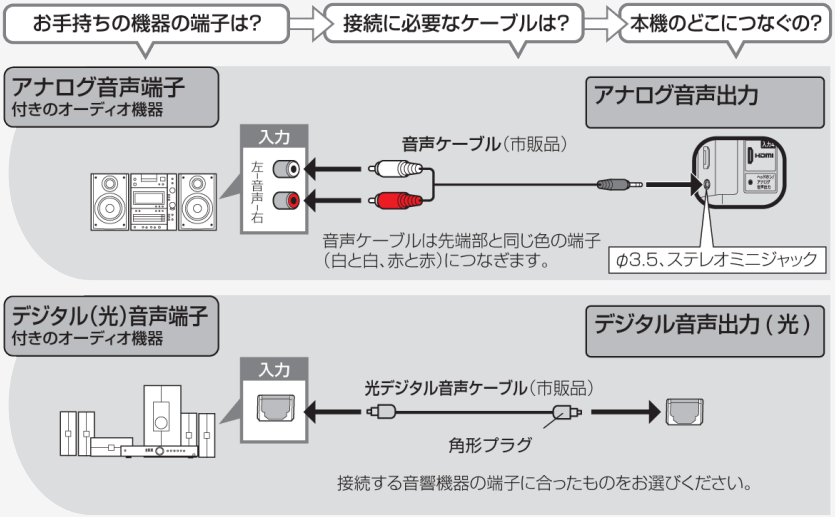
お知らせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。

ファミリンクや他機器

オーディオ機器をつなぐ

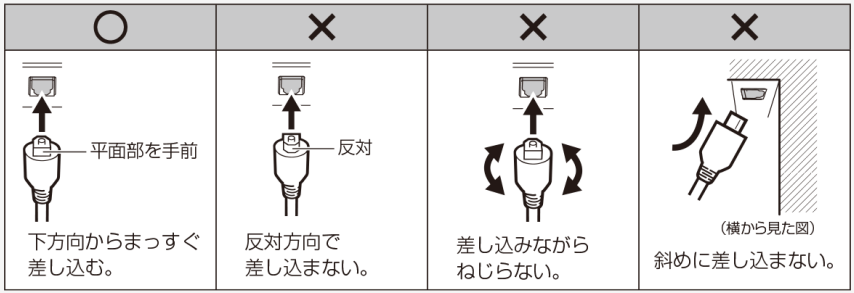
- 音響機器をつないで、迫力ある音声で楽しむこともできます。



お知らせ

- デジタル音声出力(光)端子に接続するときは、方向をよく確かめて下方向からまっすぐ差し込んでください。
  無理な力を加えると、端子が破損するおそれがあります。(⇒5-26ページ)

- デジタル音声出力（光）端子に接続するときは、方向をよく確かめて下方向からまっすぐ差し込んでください。
  無理な力を加えると、端子が破損するおそれがあります。



接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

パソコンのモニターとして使う

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン(PC)の出力解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。
- 接続方法は、⇒5-31～5-32ページを確認してください。

本機が対応している解像度

解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○

解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
WXGA	1280 × 800	49.7	60	○
	1366 × 768	47.7	60	○
SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
1080i	1920 × 1080	33.8	60	
1080p	1920 × 1080	67.5	60	
4K	3840 × 2160	53.95	24	
		67.5	30	
		135.0	60	

次ページへつづく⇒

パソコンのモニターとして使う

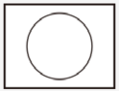
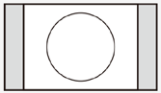
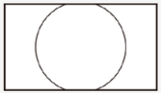
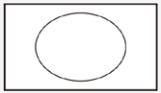
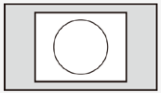
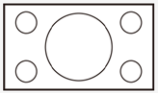
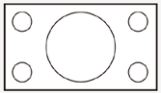
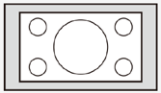
お知らせ

- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒5-29ページをご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

次ページへつづく⇒

パソコンのモニターとして使う

本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号		ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
16:9よりも縦長の映像  640×480、800×600、1024×768、1280×1024など	⇒	 入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	 画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度どおりに映します。
16:9映像 	⇒	—	—	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度どおりに映します。

次ページへつづく⇒



パソコンとつないで使う

パソコンのモニターとして使う

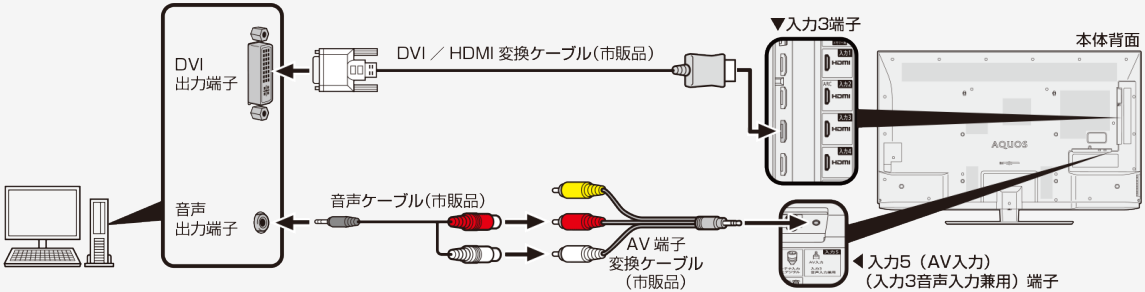
パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

1. パソコン(PC)の電源を入れる
2. 入力切換 を押して、入力切換メニューを表示し、上下カーソルボタンでパソコンを接続した入力を選び、決定を押す
   - パソコンの画面が表示されます。
3. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「画面サイズ」を選び、決定を押す
4. 画面サイズ切換メニューから、お好みの画面サイズを選ぶ

ファミリンクや他機器

パソコンとつないで使う

本機をDVI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

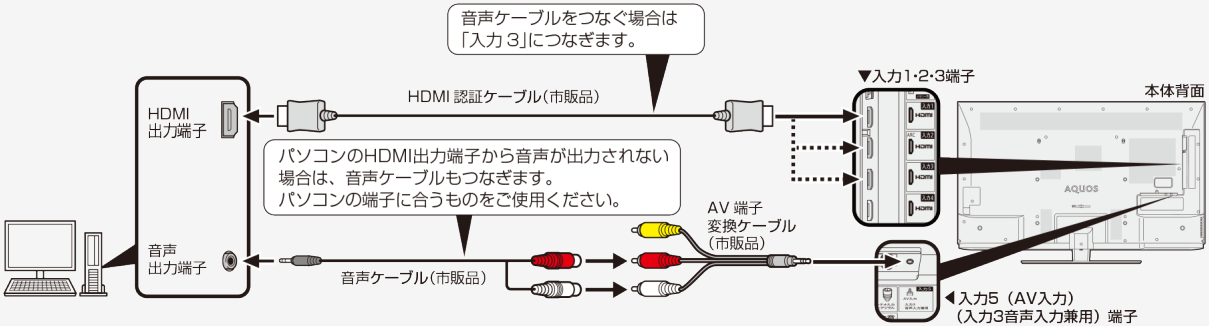


- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 市販のDVI/HDMI変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 本機のHDMI端子とパソコンのDVI端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによってはHDMI規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。
- 入力3に切り換えたあと、「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「入力3音声設定」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。

ファミリンクや他機器

パソコンとつないで使う

本機をHDMI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）



- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 市販のHDMI認証ケーブルが必要です。
- 入力3に切り換えたあと、「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「入力3音声設定」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。

ファミリンクや他機器



携帯端末などに表示される本機の機器名を変更する

- スマートフォンなど携帯端末と接続するときに表示される本機の機器名を変更できます。

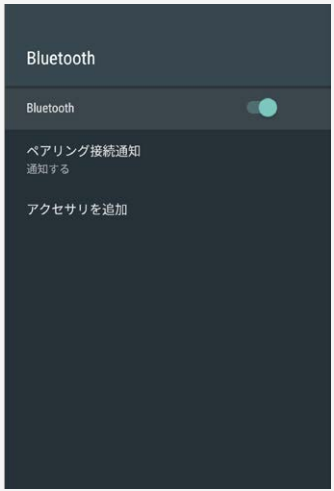
1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、決定 を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「端末情報」ー「端末名」を選び、「変更する」を選んで決定 を押す
3. 端末名を選択するか、「カスタム名を入力」を選んで機器名を入力する
   - 「カスタム名を入力」を選ぶと、ソフトウェアキーボードが表示されます。
4. 「完了」を選び決定 を押す

お知らせ

- 携帯端末接続中に変更した場合は、次に接続の操作をするまで機器名は変わりません。
- 機器名に全角文字やスペースを使用した場合、スマートフォンの機種によっては全角文字やスペース以降の文字が表示されない場合があります。この場合は、全角文字やスペース以外の文字（〝〟等）を使用してください。
- 機器名に特殊文字を使用した場合、スマートフォンの機種によっては特殊文字が表示されない場合があります。

ファミリンクや他機器

Bluetoothオーディオ機器で音声を聞く



- 本機は、ヘッドホンやスピーカーなどのBluetoothオーディオ機器をペアリングして、テレビの音声を聞くことができます。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「Bluetooth」を選び、決定を押す
3. 「アクセサリを追加」を選び、決定を押す
   - あらかじめ接続するBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。
   - 接続するBluetooth機器の操作方法は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。
4. Bluetooth機器を検索、ペアリングする
   - パスワードが必要なときは、Bluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。
   - ペアリングが完了すると、Bluetooth機器がテレビにつながります。

次ページへつづく⇒

ファミリンクや他機器

Bluetoothオーディオ機器で音声を聞く

お知らせ

- A2DP対応のヘッドホンやスピーカーなどのBluetoothオーディオ機器を接続したとき、放送やコンテンツ、アプリによっては映像と音声にずれが発生する場合があります。
- AVRCP対応のヘッドホンなどのBluetoothオーディオ機器を接続したとき、ヘッドホンのキー操作において、起動中のアプリやテレビの状態によって動作が変わる場合があります。
- スマートフォンをBluetooth接続し、本機のスピーカーから音楽を流すことはできません。
- 本機の電源を入れたとき、最後に接続されていたBluetooth機器が接続されます。

メニュー操作



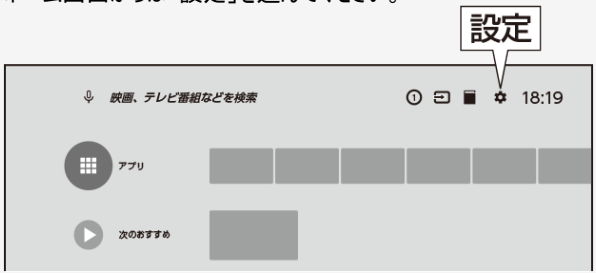
設定メニューの使いかた

設定メニューの基本的な操作のしかた

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、決定 を押す

お知らせ

- ホーム画面表示中はツールメニューを表示できません。
  ホーム画面からは「設定」を選んでください。



次ページへつづく⇒

メニュー操作



設定メニューの使いかた

設定メニューの基本的な操作のしかた

3. 上下左右カーソルボタンで目的の項目を選び、決定を押す
   - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
4. 決定を押すたびに入と切が切り換わります。

設定入：



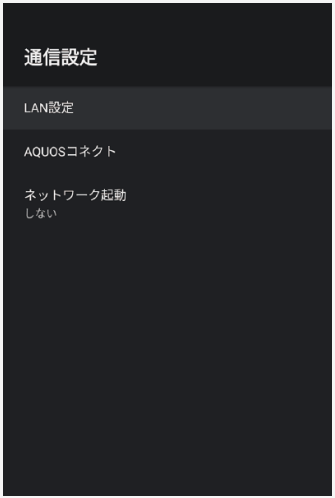
設定切：



お知らせ

- 今後、機能アップデート等により設定メニュー項目が変更になる場合があります。ご了承ください。
  また、お使いになるアカウントやアプリによっては、実際の表示と異なる場合があります。
- 設定メニュー表示中は、後ろで表示されている画面の操作はできません。一度設定メニューを終了してから操作してください。

設定メニュー項目の一覧



通信設定

LAN設定

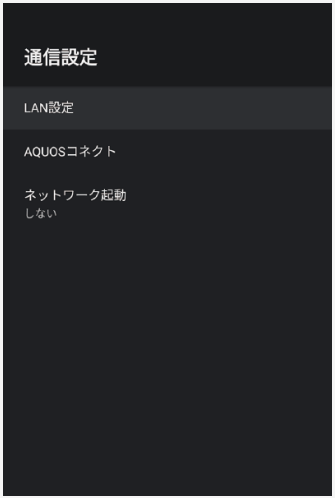
- 有線LANや無線LAN（Wi-Fi）の設定ができます。

メニュー項目名		設定
Wi-Fi		入、切
利用可能なネットワーク	すべて表示	
その他のオプション	WPS経由の接続	プッシュボタン、PINコード
	新しいネットワークを追加	
	常にスキャン	入、切
有線LAN	未接続	
	プロキシ設定	使用しない、手動
	IP設定	HDCP、静的

お知らせ

- Wi-Fi設定後に有線LANに切り換える場合は、Wi-Fiをネットワークから切断してください。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

通信設定（つづき）

AQUOSコネクト

- 携帯端末を使って本機をリモート操作するときに必要な設定です。

メニュー項目名	設定	
AQUOSコネクト	入、切	
詳細設定	ID／パスワード	AQUOSコネクトを利用する際のID／パスワードを設定します

お知らせ

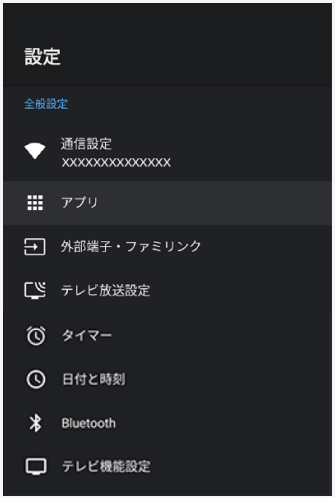
- AQUOSコネクトから電源起動する場合は、クイック起動も「入」にする必要があります。

ネットワーク起動

- ネットワーク経由（Wi-FiやLAN）からの電源起動を許可するか設定します。
- ネットワーク経由で本機を操作する場合、本機が見える位置から操作してください。

設定
する、しない

メニュー操作

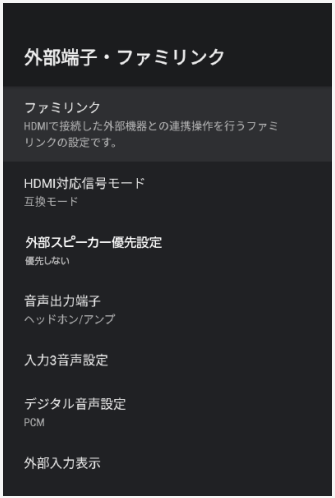


設定メニュー項目の一覧

アプリ

- ダウンロードしたアプリや実行中のアプリを確認したり、アプリ関係の設定ができます。
  ※アプリをアンインストールする場合は、アプリを選び「アンインストール」を選択し「OK」を押してください。

設定	
最近開いたアプリ	アプリをすべて表示
権限	アプリの権限
	特別なアプリアクセス



設定メニュー項目の一覧

外部端子・ファミリンク

ファミリンク

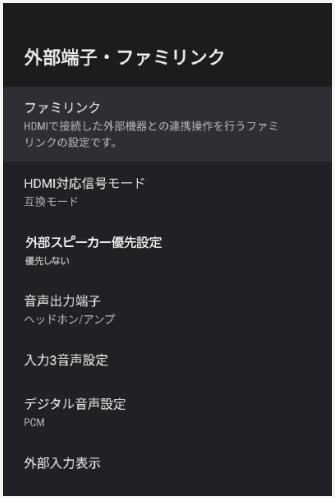
- HDMIで接続した外部機器との連携操作を行うファミリンクの設定です。

メニュー項目名		設定	
ファミリンク制御（連動）		入、切	ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「切」に設定します。
連動起動		入、切	ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
レコーダー選択		録画・ファミリンク連携に使用するファミリンク機器を選択します。	
選局キー設定	入力1	自動、する、しない	「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンでAQUOSレコーダーの操作が行えます。 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。
	入力2	自動、する、しない	
	入力3	自動、する、しない	
	入力4	自動、する、しない	

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

外部端子・ファミリンク（つづき）

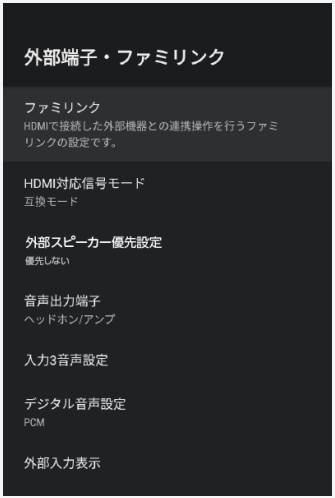


HDMI対応信号モード

- 入力1・2・3・4（HDMI1・2・3・4）において、対応信号モードを切り換える設定です。
- Ultra HD ブルーレイの映像をHDR映像で視聴する場合は、「フルモード」に設定してください。HDMI1・2・3・4別々に設定することはできません。

設定	
フルモード	4K映像をより高精細・広色域・高コントラストにするモードです。
互換モード	接続機器との互換性を優先するモードです。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

外部端子・ファミリンク（つづき）

外部スピーカー優先設定

- 外部スピーカーがHDMIで接続されているとき、外部スピーカーからの音声出力を優先するか設定します。

設定	
優先する	外部スピーカーがHDMIで接続されているとき、外部スピーカーからの音声出力を優先します。
優先しない	外部スピーカーからの音声出力を優先しません。ファミリンクパネルの「スピーカー切換」で設定した機器から音声を出力します。

音声出力端子

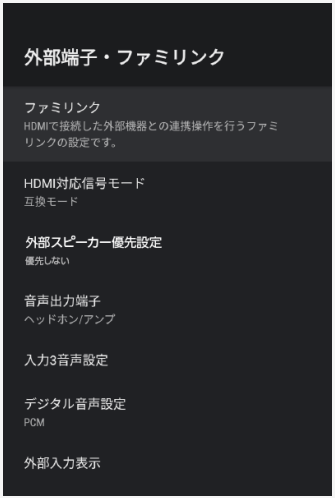
- 音声出力端子使用時に音声を出力する機器を選択してください。

設定	
ヘッドホン/アンプ	ヘッドホンまたはアンプのみで聞くときに選択してください。音量は可変に設定され、音量キーで調整できます。
テレビスピーカー＋ヘッドホン/アンプ	テレビスピーカーと同時に音声を聞くときに選択してください。音量は固定に設定されます。 ※音量が調整できないヘッドホンは、接続・設定しないでください。耳を痛める可能性があります。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

外部端子・ファミリンク（つづき）



入力3音声設定

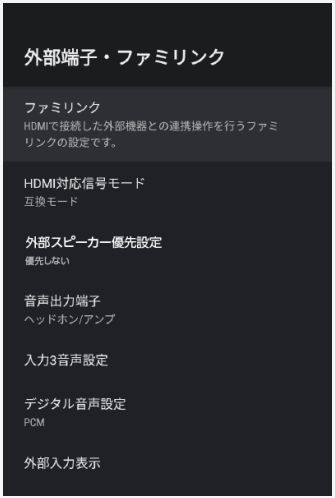
- 入力3のときに、使用する音声入力を設定します。

設定
HDMI、アナログ音声入力

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

外部端子・ファミリンク（つづき）



デジタル音声設定

- デジタル音声の信号形式を設定します。

設定	
PCM	AAC/Dolby Digital（ドルビーデジタル）に対応していない機器に接続する場合に設定します。 視聴している番組と同じ音声が出力されます。
Dolby Digital	Dolby Digitalに対応している機器に接続し、Dolby Digitalで聴く場合に設定します。
Dolby Digital Plus（ARC）	Dolby Digital PlusやDolby Atmos対応のAVアンプと接続するときに設定します。 ※この設定値の場合、光デジタル音声出力からは音声は出力されません。
ビットストリーム（デジタル音声出力）	AAC/Dolby Digital対応のAVアンプに、光デジタル音声出力端子を使ってつなぐ場合に設定します。主／副の両方の音声が同時に出力されます。
ビットストリーム（ARC）	AAC/Dolby Digital/Dolby Digital Plus/Dolby Atmosに対応のAVアンプに、HDMI2（ARC）を使ってつなぐ場合に設定します。主／副の両方の音声が同時に出力されます。

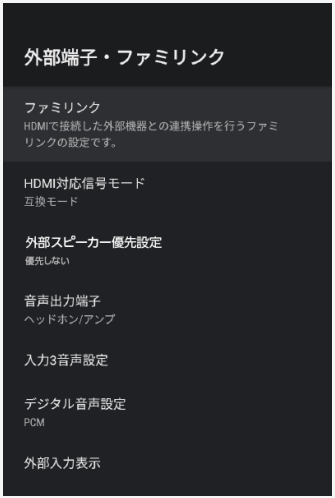
お知らせ

- ビットストリームに設定し、音が出力されない場合は、Dolby DigitalやPCMを選択してください。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

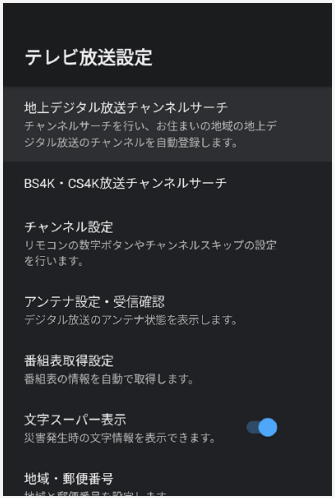
外部端子・ファミリンク（つづき）



外部入力表示

- 入力切換メニューなどへの表示、非表示、表示される機器の名称を変更できます。非表示に設定した入力は、入力切換時、スキップされます。

メニュー項目名		設定
スタンバイ入力	入力1～4	この入力を表示、入力1～5、HDMI1、ブルーレイ、ケーブル、DVD、ゲーム機、カスタム名
未接続の入力	入力5	



設定メニュー項目の一覧

テレビ放送設定

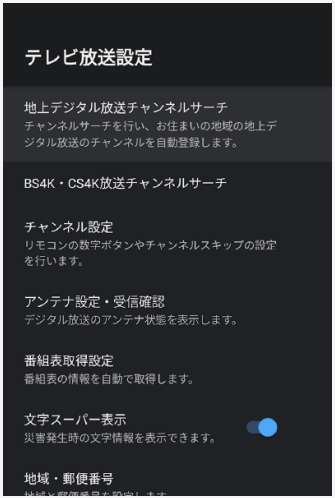
- 地上/BS/110度CSデジタル放送、BS4K/110度CS4K放送の設定を行います。

地上デジタル放送チャンネルサーチ

- チャンネルサーチを行い、お住まいの地域の地上デジタル放送のチャンネルを自動登録します。

メニュー項目名	設定	
初期サーチ	お住まいの地域の地上デジタル放送のチャンネルを自動登録します。 変更したチャンネルボタンの番号やスキップ設定はクリアされます。	
追加サーチ	追加・変更されたチャンネルのみ更新します。	
チャンネル更新	自動	通常は自動でご使用ください。 放送局の追加、周波数変更時に自動で更新します。
	手動	自動で更新しません。 現在の設定を変更したくない場合に「手動」を選択してください。
地域・ 郵便番号	地域と郵便番号を設定します。	

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ放送設定（つづき）

BS4K・CS4K放送チャンネルサーチ

- チャンネルサーチを行い、BS4K・CS4K放送のチャンネルを自動登録します。

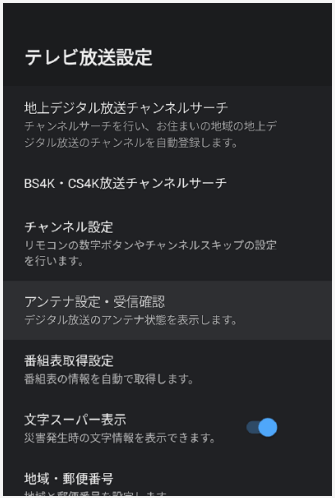
設定
はい、いいえ

チャンネル設定

- リモコンの数字ボタンやチャンネルスキップの設定を行います。

メニュー項目名	設定
地上デジタル	リモコン番号、選局スキップ：しない、する
BSデジタル	リモコン番号、選局スキップ：しない、する
CSデジタル	リモコン番号、選局スキップ：しない、する
BS4K・CS4K	リモコン番号、選局スキップ：しない、する
ネットチャンネル	選局スキップ：しない、する

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ放送設定（つづき）

アンテナ設定・受信確認

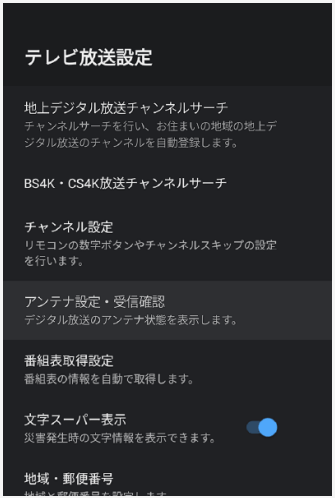
- デジタル放送のアンテナの状態を表示します。デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。
（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」を行ってください。）

メニュー項目名		設定	
受信状態確認	BS・110度CSアンテナ		
	選局中チャンネル（BS・CSアンテナ電源）	オート、入、切	現在視聴中のチャンネルの受信状態確認と、BS・CSアンテナ電源の設定ができます。
信号テスト	地上デジタル		
	BSデジタル・BS4K（右旋）		
	CSデジタル（右旋）		
	BS4K（左旋）		
	CS4K（左旋）		

お知らせ

- 既存のBS・110度CSアンテナなどの設備の場合、右旋で放送される4K放送を視聴することができます。
- BS・110度CS右左旋共用アンテナなどの設備の場合、右旋で放送される4K放送に加えて、左旋で放送される4K放送も試聴できます。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ放送設定（つづき）

番組表取得設定

- 番組表の情報を自動で取得します。

メニュー項目名	設定
地上デジタル	入、切
BSデジタル	入、切
CSデジタル	入、切
BS4K・CS4K	入、切

文字スーパー表示

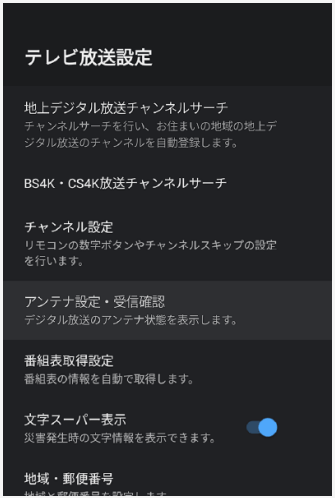
- 災害発生時の文字情報を表示できます。

設定
入、切

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ放送設定（つづき）



地域・郵便番号

- 地域と郵便番号を設定します。

設定
地域
郵便番号

ネットチャンネル登録

- ライブチャンネルを公開しているアプリをダウンロードすると、ネットチャンネルに登録することができます。



設定メニュー項目の一覧

タイマー

おはようタイマー

- 指定した時刻に自動的に電源が入るように設定できます。
  おはようタイマーを設定すると本体のタイマーランプが橙色に点灯します。異なるタイマーを3種類までセットできます。

メニュー項目名	設定
おはようタイマー	入、切
時刻	おはようタイマー時刻設定
入力	地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、BS4K・CS4K、入力1～5
チャンネル	起動時のチャンネルを選択してください。
音量	0～100

お知らせ

- おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）

次ページへつづく⇒

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

タイマー（つづき）

おやすみタイマー

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

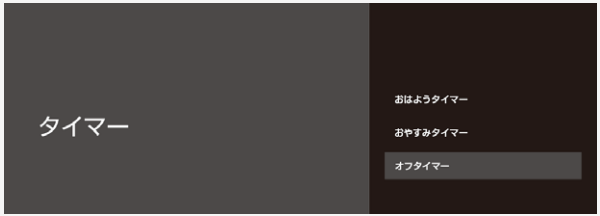
メニュー項目名	設定
おやすみタイマー	入、切
時刻	おやすみタイマー時刻設定

お知らせ

- 無操作オフや無信号オフが設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- 起動中のアプリによっては、タイマーが作動しない場合があります。放送や外部入力視聴中にお使いください。

次ページへつづく⇒

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

タイマー（つづき）

オフタイマー

- 指定した時間後に電源を切ります。

メニュー項目名	設定
オフタイマー	入、切
オフまでの時間	0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分

お知らせ

- 設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。
- 起動中のアプリによっては、タイマーが作動しない場合があります。放送や外部入力視聴中にお使いください。

設定メニュー項目の一覧



日付と時刻

時計表示

- 放送または外部入力視聴中、時刻を画面に表示するかどうかの設定です。

設定
常に表示する、選局時のみ表示する、表示しない

日付と時刻の自動設定

- 日付と時刻をネットワークまたは放送に同期するかを設定します。

設定
ネットワークの時刻と同期、放送の時刻と同期、同期しない

お知らせ

- 初期値は放送から時刻を自動取得するようになっています。
- 「日付と時刻の自動設定」は、アプリ起動などができなくなるため、同期設定でお使いください。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

日付と時刻（つづき）

日付の設定

- 日付を設定します。

時刻の設定

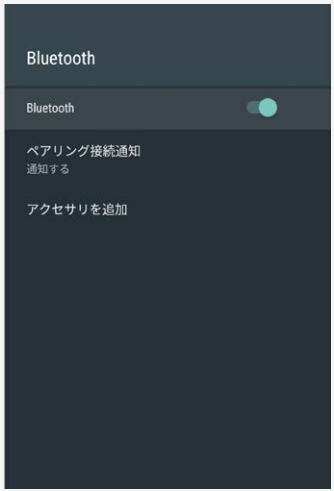
- 時刻を設定します。

24時間表示の使用

- 24時間表示を使用するかを設定します。

設定
入、切

設定メニュー項目の一覧



Bluetooth

Bluetooth

- Bluetoothの入、切を切り換える設定です

設定
入、切

ペアリング接続通知

- ペアリング機器からの接続通知を設定します

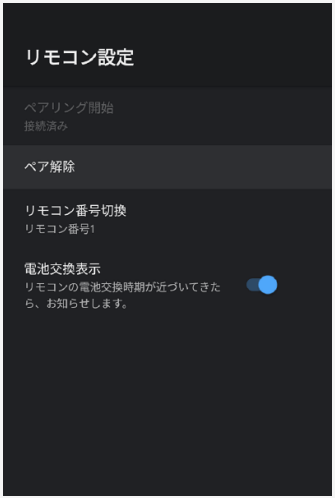
設定
通知する、通知しない

お知らせ

- パスキーやPINコードを入れてペアリング接続する場合は、「通知する」に設定して接続してください。

アクセサリを追加

- Bluetoothで接続する機器の登録ができます。 （⇒5-34ページ）



設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定

リモコン設定

メニュー項目名	設定	
ペアリング開始	リモコンのペアリングが開始されます。	
ペア解除	OK、キャンセル	リモコンのペアリングを解除します。
リモコン番号切換	リモコン番号1、リモコン番号2	本機のリモコン番号を切り換えます。
電池交換表示	入、切	リモコンの電池交換時期が近づいてきたら、お知らせします。

お知らせ

- 本機にリモコンのペアリング情報がある場合は、ペアリング開始は選択できません。再度リモコンをペアリングしたい場合は、ペア解除をしてから、ペアリングを開始してください。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



操作音

メニュー項目名		設定	
操作音		入、切	操作音の入、切を切り換える設定です。
サラウンドサウンド	形式の選択	自動	端末から報告されるサポート形式を使用する（推奨）
		なし	サラウンドサウンドを使用しない
		手動	使用する形式を選択する

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）

クイック起動

- 電源起動時すぐに映像・音声を出すための設定です。

設定
入、切

お知らせ

- 「入」に設定時は、「切」設定時に比べ、待機時の消費電力が増加します。
- 「入」に設定時は、待機時でも光デジタル信号が出力されます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



画面表示設定

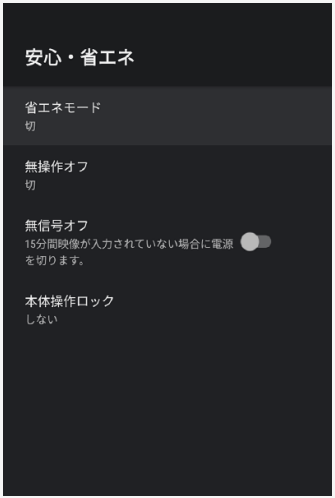
メニュー項目名	設定	
チャンネル常時表示	入、切	放送または外部入力視聴中、チャンネル、入力情報を常に画面上に表示します。
Dolby Vision表示	入、切	Dolby Vision®（ドルビービジョン）方式の映像※が入力された際に、画面上に表示されるロゴの表示/非表示を選択するモードです。

※一部Ultra HDブルーレイ、インターネット動画で対応している映像方式です。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



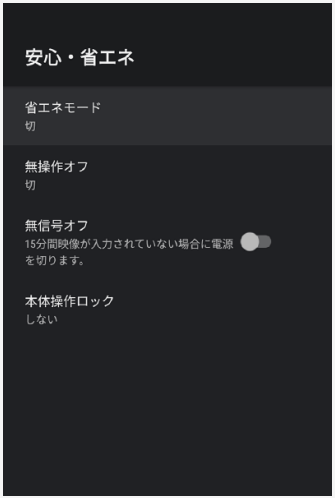
安心・省エネ

メニュー項目名	設定	
省エネモード	入、切	• 「入」にすると以下が設定され消費電力を抑えることができます。 • 映像調整：省エネ制御 • クイック起動：切 • 無信号オフ：入（15分） 省エネモード中は、上記設定値を変更することはできません。
無操作オフ	30分、1時間、3時間、切	本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



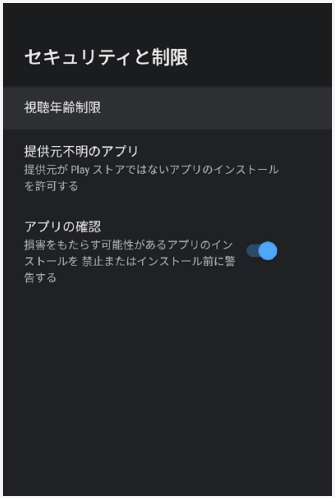
安心・省エネ

メニュー項目名	設定	
無信号オフ	入、切	15分間映像が入力されていない場合に電源を切ります。ネットチャンネルの視聴中やアプリ起動中は非対応となります。
本体操作ロック	する、しない	本体ボタンでの操作を禁止します。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



セキュリティと制限

メニュー項目名		設定	
視聴年齢制限	暗証番号	する、しない	視聴年齢制限の暗証番号を設定します。
	視聴年齢制限	入、切	
	地上/BS/CS/4K	無制限、4歳～20歳	
	ネットチャンネル		

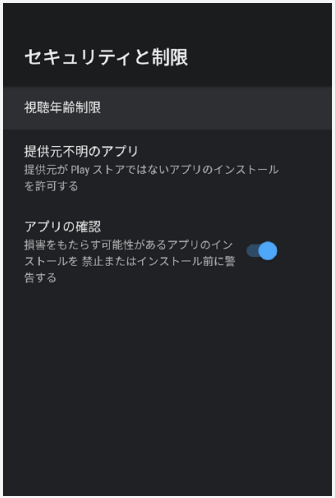
暗証番号を忘れたときは

- 「データの初期化」が必要です。（⇒ 6-45ページ）
  データの初期化を行うと、暗証番号以外の情報も消去されます。
  暗証番号はメモなどして忘れないようにしてください。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



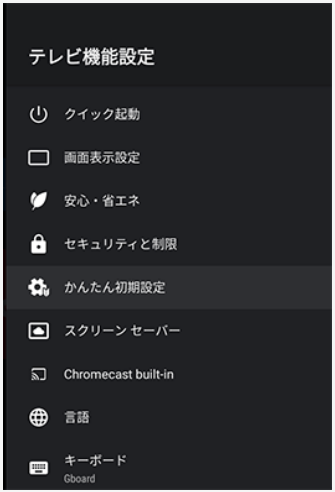
セキュリティと制限

メニュー項目名	設定	
提供元不明のアプリ		提供元がPlayストアではないアプリのインストールを許可するか設定します。
アプリの確認	入、切	損害をもたらす可能性があるアプリのインストール禁止またはインストール前に警告させるかを設定します。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



かんたん初期設定

- 引っ越し等でテレビの設置場所が変わった時などに、再度初期設定を行うことができます。画面を見ながら操作・設定をしてください。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



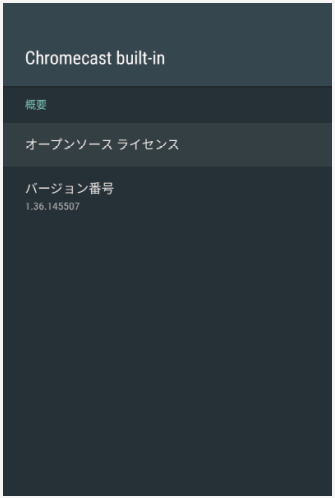
スクリーンセーバー

メニュー項目名	設定	
スクリーンセーバー	背景、カラー	スクリーンセーバーの設定をします。
起動までの時間	30秒、5分、15分、30分、1時間、2時間、使用しない	スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します。
今すぐ起動	スクリーンセーバー画面に切り換えます。	

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



Chromecast built-in

- 本機に内蔵されている Chromecast built-in 機能の設定を確認することができます。

メニュー項目名	
概要	オープンソースライセンス
	バージョン番号

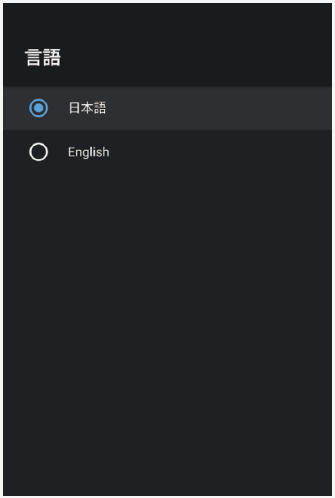
お知らせ

- 状況によって表示される項目が変更される場合があります。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



言語（Language）

- ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。
  Switch the on-screen display language to English.

設定
日本語、English

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



キーボード

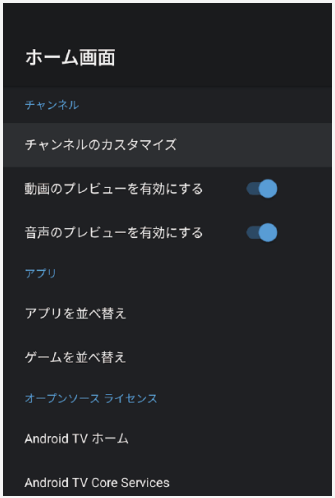
- 画面に表示されるソフトウェアキーボードを設定します。

メニュー項目名	設定
現在のキーボード	Gboard
Gboardの設定	
キーボードの管理	

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



ホーム画面

メニュー項目名		設定
チャンネル	チャンネルのカスタマイズ	
	動画のプレビューを有効にする	入、切
	音声のプレビューを有効にする	入、切
アプリ	アプリを並べ替え	
	ゲームを並べ替え	
オープンソースライセンス	Android TV ホーム	
	Android TV Core Services	

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



Google

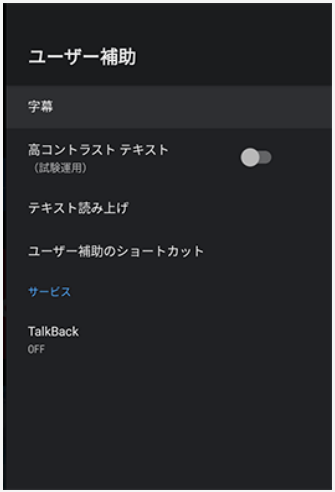
- ホーム画面の検索に関する設定ができます。

メニュー項目名	設定
アカウント	
権限の表示	
検索対象のアプリ	検索結果に表示するアプリを選択します。
セーフサーチ	入、切
不適切な語句のブロック	入、切
オープンソースライセンス	

お知らせ

- 音声による番組検索の結果で、不適切な表現のコンテンツをフィルタリング（表示しない）するには、セーフサーチを「入」に設定してください。
- 設定により、実際の表示とは異なる場合があります。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）

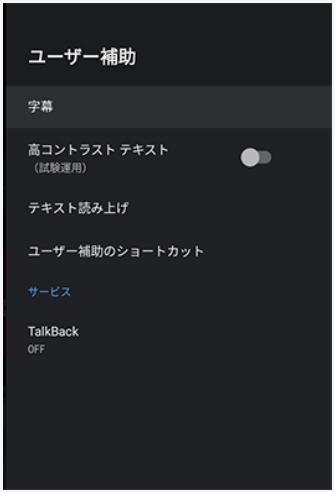
ユーザー補助

メニュー項目名			設定
字幕	ディスプレイ		入、切
	表示オプション	言語	デフォルト、日本語、English
		文字サイズ	極小、小、標準、大、極大
	字幕スタイル		黒地に白、白地に黒、黒地に黄色、青地に黄色、カスタム

お知らせ

- 放送の字幕表示は、「ツール」ー「視聴操作」ー「字幕」から設定してください。（→ 6-54ページ）

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）

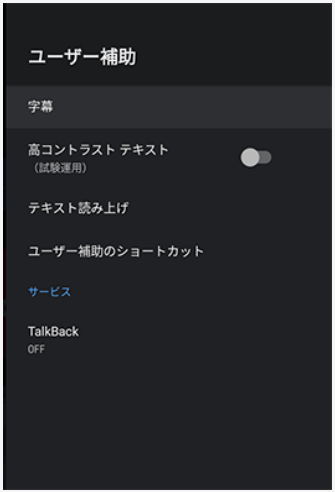
ユーザー補助

メニュー項目名				設定
高コントラストテキスト（試験運用）				入、切
テキスト読み上げ	優先するエンジン	Google テキスト読み上げエンジン		
		エンジンの設定	言語	システムの言語を使用、各国言語
			Google テキスト読み上げエンジンの設定	
			音声データをインストール	
	全般	音声の速度		非常に遅い、遅い、標準、速い、より速い、非常に速い、高速、非常に高速、最高速
		サンプルを再生		
		デフォルトの言語のステータス		
ユーザー補助のショートカット	ユーザー補助機能のショートカットを有効にする			入、切

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



ユーザー補助

メニュー項目名			設定
サービス	TalkBack	有効にする	入、切
		設定	

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）

設置場所

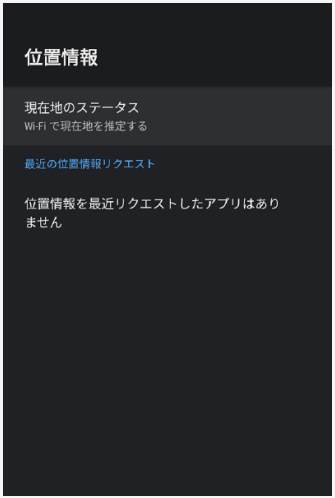
- ご家庭でお使いの場合は、「家庭」を選択してください。「店頭」を選択すると店頭展示用の設定に変更します。

メニュー項目名	設定
家庭	確認
店頭	

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



位置情報

メニュー項目名	設定
現在地のステータス	Wi-Fiで現在地を推定する、OFF
最近の位置情報リクエスト	

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

テレビ機能設定（つづき）



使用状況と診断

- Google に診断情報(障害レポート、端末やアプリ、Chromecast built-in の使用状況データなど)が自動的に送信されます。この情報がユーザーの特定に使用されることはありません。

設定
オン、オフ

設定メニュー項目の一覧



お知らせ

受信機レポート

- 自動で電源オフになった理由などに関する、受信機に関係したレポートを表示します。

放送局メッセージ

- 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。

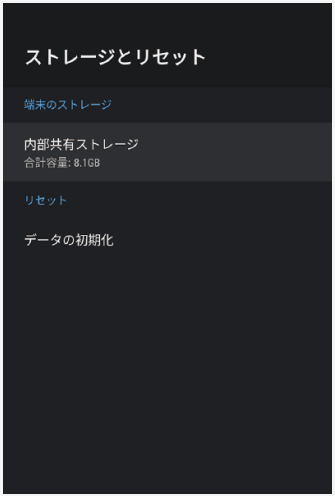
ボード（CSデジタル）

- 現在の放送で送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。
  ボード情報はそのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

設定
CS1の情報、CS2の情報

設定メニュー項目の一覧

ストレージとリセット



内部共有ストレージ

- 本機の内蔵メモリの容量・内訳を表示します。

設定
内部共有ストレージ

お知らせ

- USBメモリーを接続しているときは、「リムーバブルストレージ」とその情報が表示されます。

データの初期化

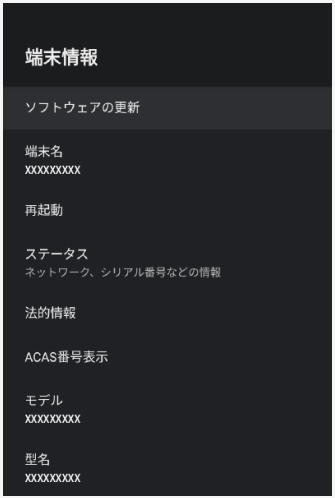
- 本機のデータを初期化します。

メニュー項目名	設定
リセット	キャンセル、リセット

お知らせ

- 本機を廃棄または譲渡する場合は、「データの初期化」を実施してください。

設定メニュー項目の一覧



端末情報

ソフトウェアの更新

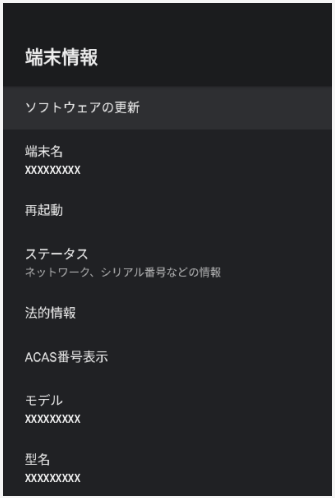
- ソフトウェアをアップデートします。

メニュー項目名	設定
アップデート実行	ネットワークアップデート
	USBアップデート
	放送アップデート

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

端末情報（つづき）



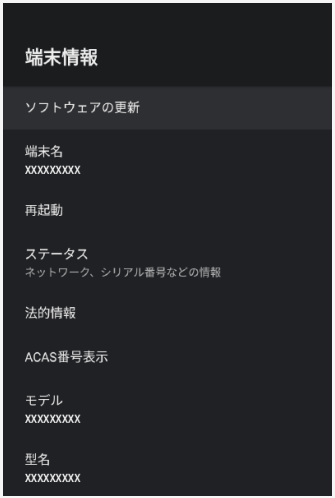
- 本機の端末情報が表示されます。

メニュー項目名		設定	
端末名	変更する	AQUOS－TVJ20B、Android TV、リビングルームのテレビ、ファミリールームのテレビ、寝室のテレビ、カスタム名を入力...	本機の名前を変更できます
	変更しない		
再起動	再起動		
ステータス	IPアドレス		
	MACアドレス		
	Bluetoothアドレス		
	シリアル番号		
	稼働時間		
法的情報	プライバシーポリシー	同意しない、同意する	
	ソフトウェアライセンス		
	オープンソースライセンス		
	Google 利用規約		
	システムのWebViewライセンス		
	広告		

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

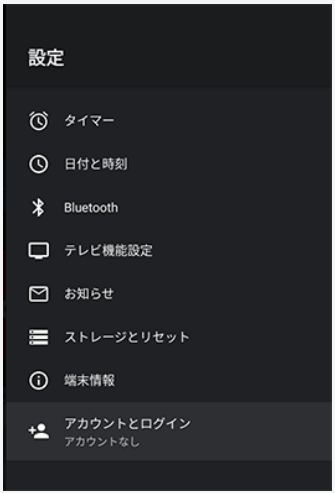
端末情報（つづき）



- 本機の端末情報が表示されます。

メニュー項目名	
ACAS番号表示	ACASの番号を表示します。 受信機レポートで報告された 不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるとき、お客様の契約確認のためACASの番号を表示するものです。
モデル	モデル名を表示します。
型名	型名を表示します。
バージョン	本機の Android™ のバージョンを表示します。
Android セキュリティパッチレベル	
カーネルバージョン	
ビルド	

設定メニュー項目の一覧



アカウントとログイン

- Google などにログインできます。

メニュー操作



ツールメニューの使いかた

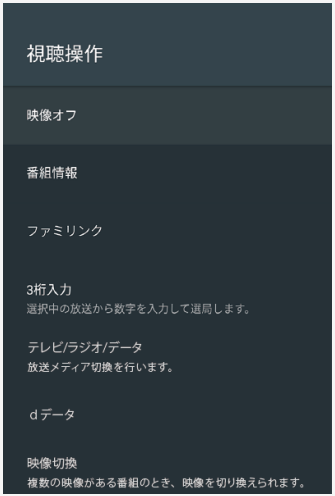
ツールメニューの基本的な操作のしかた

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで目的の項目を選び、決定 を押す
3. 上下カーソルボタンでさらに目的の項目を選び、決定 を押す
   - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。

お知らせ

- 表示中の画面によってツールメニューの項目は異なります。

ツールメニュー項目の一覧



視聴操作

映像オフ

- 映像を消して音声だけを聞くことができます。

設定	
する、しない	音声関連以外のキーで復帰します。

番組情報

- テレビ番組視聴中に、番組情報が表示できます。

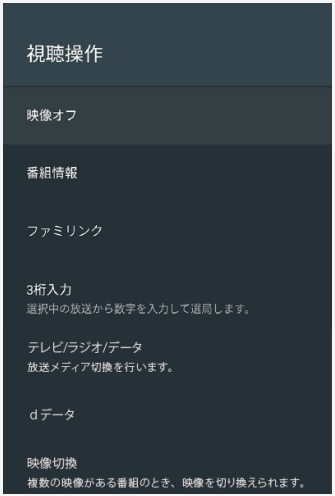
ファミリンク

- ファミリンクパネルを表示します。
  ※ファミリンク機器が接続されていないときは選択できません。

次ページへつづく⇒

ツールメニュー項目の一覧

視聴操作（つづき）



3桁入力

- 選択中の放送から数字を入力して選局します。

テレビ/ラジオ/データ

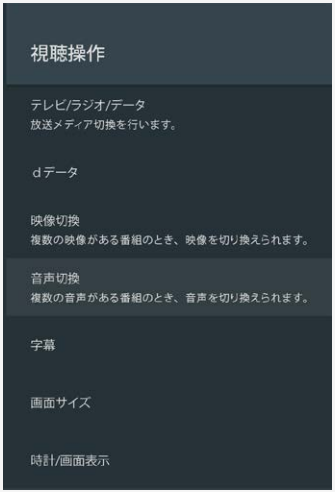
- 放送メディア切り換えを行います。

（⇒2-2ページ）

次ページへつづく⇒

ツールメニュー項目の一覧

視聴操作（つづき）



dデータ （⇒2-1ページ）

- データ連動がある番組のとき、データ画面を表示できます。
  リモコンの d（データ）でも表示できます。

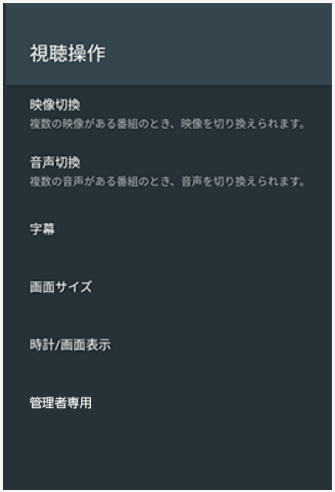
映像切換 （⇒2-16ページ）

- 複数の映像がある番組のとき、映像を切り換えられます。

音声切換 （⇒2-17ページ）

- 複数の音声がある番組のとき、音声を切り換えられます。
  リモコンの（音声切換）でも切り換えられます。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

視聴操作（つづき）

字幕

- 字幕の表示方式や表示言語を変更します。 （⇒2-18ページ）

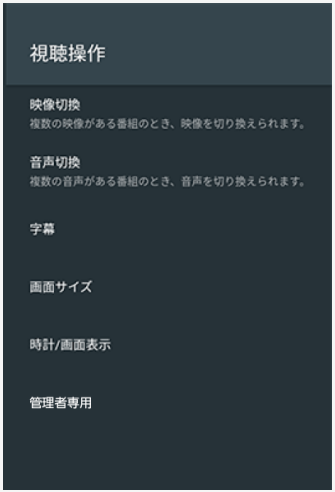
メニュー項目名	設定	
表示方法	オンスクリーン	字幕オンスクリーン表示では、映像に重なって字幕が表示されます。（放送によって上下の位置が変ります。）
	アウトスクリーン（上）、アウトスクリーン（下）	字幕アウトスクリーン表示では、自動的に映像が縮小され、映像の上側（下側）に字幕が表示されます。放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。4K放送視聴時は、オンスクリーンで表示されます。
	切	字幕放送「切」では、字幕放送でも字幕を表示しません。
言語切換	複数の字幕言語がある番組のとき、言語を切り換えられます。	

お知らせ

- データ放送表示中、字幕の表示方法を切り換えると、データ放送が非表示、または初期状態となる場合があります。

  リモコンの 字幕 でも切り換えられます。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

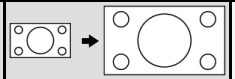
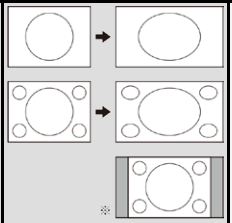
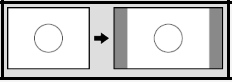
視聴操作（つづき）

画面サイズ

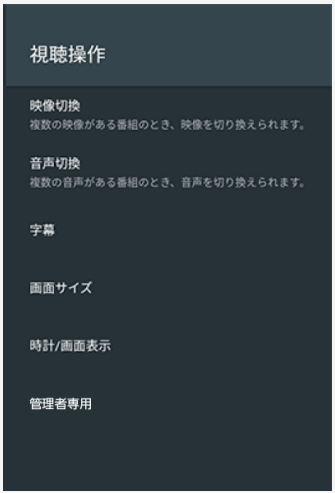
- 放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。

画面サイズ切換の設定項目

映像の種類によって、選べる画面サイズは異なります。

項目		内容
アンダースキャン		• 縦横比をくずさずに、入力信号を画面いっぱいに拡大して映します。
フル		• 入力信号を画面いっぱいに映します。 ※入力信号16:9の信号に黒帯がついている場合、黒帯がついたままとなります。
ノーマル		• 縦横比をくずさずに、4:3サイズの映像をそのまま映します。

次ページへつづく⇒

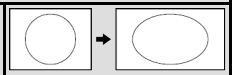
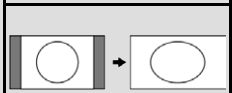
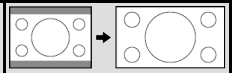
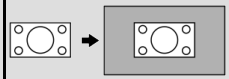


ツールメニュー項目の一覧

視聴操作（つづき）

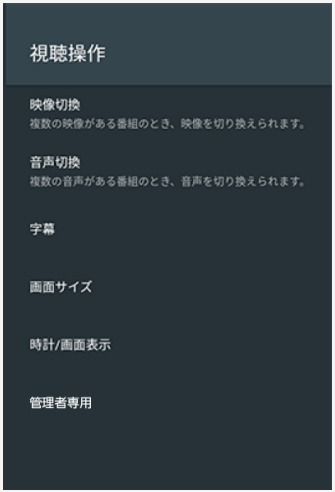
画面サイズ切換の設定項目（つづき）

映像の種類によって、選べる画面サイズは異なります。

項目		内容
ワイド		• 4:3映像を画面いっぱいに映します。
		• 16:9映像の中央部（4:3）を画面いっぱいに映します。入力信号が16:9で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
シネマ		• シネスコサイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
Dot by Dot		• 入力信号の解像度どおりに映します。 ※入力信号が4Kより小さい場合は、図のように映ります。

次ページへつづく⇒

視聴操作（つづき）



時計/画面表示

- 時計と視聴中のチャンネル情報を表示します。
  リモコンの 画面表示 時計 でも表示できます。

管理者専用

- 管理者専用の項目です。



ツールメニュー項目の一覧

映像調整

AVポジション

- 映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。

設定	
標準	映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目に優しい映像にします。
PC	PC用の画面モードです。
フォト	静止画用の画面モードです。文字を見やすく表示します。
ダイナミック	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。
ダイナミック（固定）	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。この設定のときは映像調整や音声調整ができません。

お知らせ

- 入力によっては選択できないAVポジションがあります。
- AVポジションの切換時には、一部の映像設定の変更を行う間、一定時間黒画面となる場合があります。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

映像調整

AVポジション（つづき）

- Dolby Vision®（ドルビービジョン）方式のHDR映像 ※が入力された際には以下のAVポジションになります。
  ※一部のUltra HDブルーレイ、インターネット動画で対応しているHDR映像方式です。

設定	
Dolby Vision（ダーク）	ドルビービジョン映像の暗部階調を重視したモードです。
Dolby Vision（ブライト）	ドルビービジョン映像を明るく表現するモードです。
Dolby Vision（ダイナミック）	ドルビービジョン映像を色鮮やかに表現するモードです。

お知らせ

- Dolby Vision映像を視聴する際には、HDMI対応信号モードを「フルモード」に設定してください。
  「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「HDMI対応信号モード」から「フルモード」に変更できます。
- Dolby Vision映像を視聴時は、AVポジション変更以外の映像調整、音声調整はできません。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

映像調整（つづき）

明るさセンサー

- センサーの入切や動作範囲を設定します。

メニュー項目名	設定	
明るさセンサー	入、切	周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整します。
画面表示	する、しない	
最大値	−15～0～+16	
最小値	−16～0～+15	

明るさ

- 画面をお好みの明るさに手動で調整します。明るさセンサー入時は変更できません。

設定
−16～0～+16

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

映像調整（つづき）

映像レベル

- 映像の強弱を調整します。

設定
0～+40

黒レベル

- 画面を見やすい明るさに調整します。

設定
−30～0～+30

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

設定
−30～0～+30

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

映像調整（つづき）

色あい

- 色を調整します。

設定
−30〜0〜+30

シャープネス

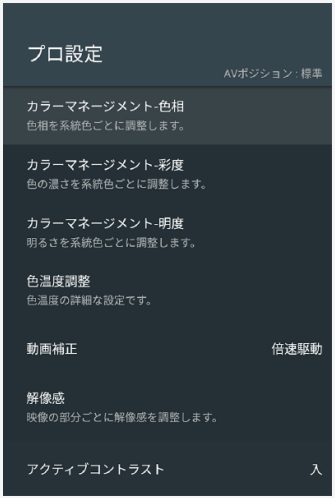
- 画面をお好みの画質に調整します。

設定
0〜+20

お知らせ

- AVポジションが「PC」のときは選択できません。

メニュー操作



ツールメニュー項目の一覧

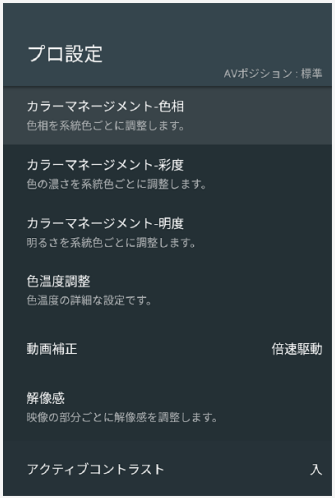
プロ設定

- 高度な映像調整の設定ができます。

メニュー項目名		設定	
カラーマネージメント-色相※1※2	Red	−30〜0〜+30	色の構成要素となる6つの系統色を調整し、色相を変化させます。
	Yellow	−30〜0〜+30	
	Green	−30〜0〜+30	
	Cyan	−30〜0〜+30	
	Blue	−30〜0〜+30	
	Magenta	−30〜0〜+30	
	リセット	する、しない	
カラーマネージメント-彩度※1※2	Red	−15〜0〜+15	色の構成要素となる6つの系統色を調整し、彩度を変化させます。
	Yellow	−15〜0〜+15	
	Green	−15〜0〜+15	
	Cyan	−15〜0〜+15	
	Blue	−15〜0〜+15	
	Magenta	−15〜0〜+15	
	リセット	する、しない	

※1 4T-B60CN1のツールメニューにのみ表示されます。
※2 AVポジションが「PC」のときは選択できません。

次ページへつづく⇒



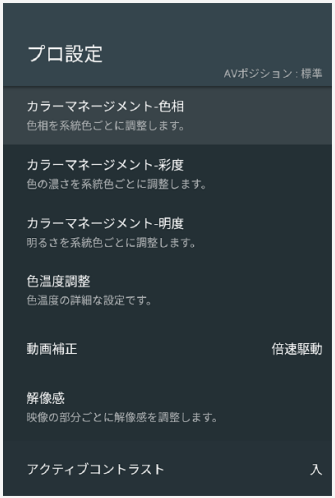
ツールメニュー項目の一覧

プロ設定（つづき）

メニュー項目名		設定	
カラーマネージメント−明度※1※2	Red	−30〜0〜+30	色の構成要素となる6つの系統色を調整し、明度を変化させます。
	Yellow	−30〜0〜+30	
	Green	−30〜0〜+30	
	Cyan	−30〜0〜+30	
	Blue	−30〜0〜+30	
	Magenta	−30〜0〜+30	
	リセット	する、しない	
色温度調整	色温度	高、高−中、中、中−低、低	青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかかった白（色温度：低）にするかを調整します。また、色温度ごとにRゲイン、Gゲイン、Bゲイン値を変えてホワイトバランスを微調整することができます。
	Rゲイン(低)	−30〜0〜+30	
	Gゲイン(低)	−30〜0〜+30	
	Bゲイン(低)	−30〜0〜+30	
	Rゲイン(高)	−30〜0〜+30	
	Gゲイン(高)	−30〜0〜+30	
	Bゲイン(高)	−30〜0〜+30	
	リセット	する、しない	

※1 4T−B60CN1のツールメニューにのみ表示されます。
※2 AVポジションが「PC」のときは選択できません。

次ページへつづく⇒



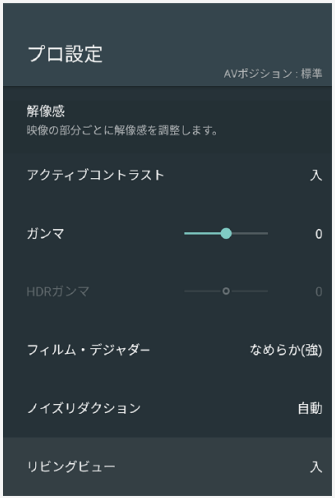
ツールメニュー項目の一覧

プロ設定（つづき）

メニュー項目名		設定	
動画補正※1※2		CN1の場合 480スピード／倍速駆動(強)／倍速駆動／切、CL1の場合 120スピード／切	動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする設定です。
解像感※1※3	ディテール（高域）	0～+10	映像の部分ごとに解像感を調整します。
	ワイドエッジ（低域）	0～+10	
アクティブコントラスト ※1		入、切	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。

※1 AVポジションが「PC」のときは選択できません。
※2 AVポジションが「ゲーム」の時は選択できません。
※3 4T-B60CN1のツールメニューにのみ表示されます。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

プロ設定（つづき）

メニュー項目名	設定	
ガンマ	−3〜0〜+3	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
HDRガンマ※1	−2〜0〜+2	HDR信号入力時の映像調整をします。値を大きくすると輝度を重視し、値を小さくすると明るさを抑え、階調表現を重視します。
フィルム・デジャダー※2※3※4	なめらか（強）、なめらか、切	映像や音楽ソフトに多い24コマ／秒の素材映像をなめらかに表示する設定です。
ノイズリダクション※3※4	自動、強、中、弱、切	映像に乗ったノイズを減らし、スッキリさせる機能です。
リビングビュー※5	入、切	階調表現をコントロールし、広範囲で視聴するのに適した設定です。

※1 HDR信号入力時以外は選択できません。
※2 AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※3 入力信号の種類や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。
※4 AVポジションが「PC」のときは選択できません。
※5 4T-B50CL1のツールメニューにのみ表示されます。



ツールメニュー項目の一覧

映像調整

リセット

- AVポジションごとの設定を初期値に戻します。

設定
する、しない



ツールメニュー項目の一覧

音声調整

音質モード

- 音質モードを切り換えます。

メニュー項目名	設定
標準	標準設定です。
ダイナミック	メリハリの効いた設定です。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

オートボリューム

- 急激な音量変化を抑制し、自動で音量を調整します。

設定
入、切

お知らせ

- 「声の聞きやすさ」設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームの設定は変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーに対しては働きません。
- 放送やBD/DVDなどのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

高音

- 高音を調整できます。

設定
−15〜0〜+15

低音

- 低音を調整できます。

設定
−15〜0〜+15

バランス

- 左右のスピーカー音声のバランスを調整できます

設定
左30〜中央〜右30

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

サラウンド

- 内蔵スピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。

設定
自動、入、切

サラウンドモード選択

- サラウンド有効時のモードを選択します。

設定	
リビング	立体的なサラウンドが楽しめます。
シアター	映画館のような臨場感あふれるサラウンドが楽しめます。
スタジアム	スタジアムで聞いているようなサラウンドが楽しめます。

お知らせ

- 「サラウンド」設定を「切」に設定しているときは、「サラウンドモード選択」は選べません。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

帯域拡張

- 低域と高域を拡張します。

設定
低域＋高域、低域、切

リセット

- AVポジションごとの項目を初期設定に戻します。

設定
する、しない

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

壁掛視聴設定

- 壁掛け設置に合わせた音質補正をします。

設定
入、切

お知らせ

- 壁掛視聴設定は、一般的な壁にかけた際の音を設定していますが、壁の材質や設定条件によっては、本設定が適さない場合があります。その場合はツールメニューから「音声調整」で調整してください。
- 「声の聞きやすさ」設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合は視聴設定は選べません。
- この機能は本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

声の聞きやすさ

- ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。

メニュー項目名	設定
標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞き取りやすくします。
くっきり	標準よりもくっきりした音質にします。セリフの音質をくっきりさせて、聞き取りやすくします。
切	この機能を無効にします。（工場出荷時設定）

メニュー操作



ツールメニュー項目の一覧

基本設定

- テレビ全般の設定画面を表示します。

ソフトウェアの更新

- ソフトウェア更新メニュー画面を表示します。 （⇒6-46ページ）

本体情報

- 現在の本体情報や故障かな？と思ったときに解決方法を確認できる画面に移動します。

メニュー操作



文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

- 本機の操作で文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。
- ソフトウェアキーボードは文字入力欄を選んで 決定 を押すと表示されます。
- 上下左右カーソルボタンと 決定 を使って画面に従って操作してください。

お知らせ

- ソフトウェアキーボードは、デフォルトは「Leanbackキーボード」を使用しています。アプリのバージョンによっては、デザイン、機能などが変更になる場合があります。

故障かな？

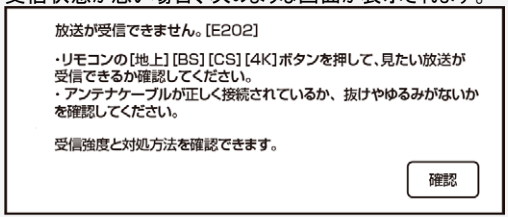


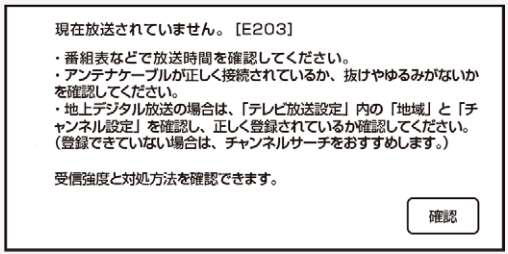
故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

以下の画面は一例です。
確認のしかたが異なる場合は、画面の指示に従ってください。

1. 画面のメッセージを確認し、決定を押す
   - 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。





次ページへつづく⇒

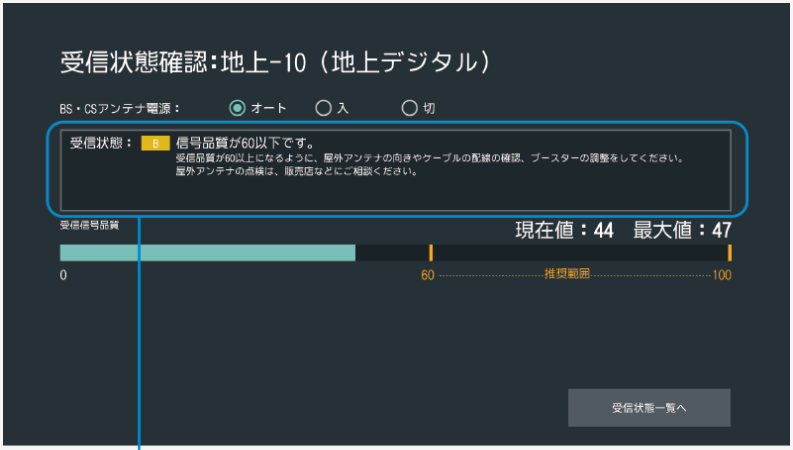
故障かな？



故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

2. 受信状態に応じた対処のしかたを確認し、上下左右カーソルボタンで「受信状態一覧へ」を選び、決定を押す



受信状態に応じた対処のしかたが表示されます。

次ページへつづく⇒

故障かな？



故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

3. デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する
   - 直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BSデジタル」「110度CSデジタル」のいずれか一方）が一覧で表示されます。



受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

BS・CSアンテナの右旋／左旋を切り換えるには

- 決定を押し、上下カーソルボタンで右旋または左旋を選び 決定を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

次ページへつづく⇒



故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

4. 確認したら、終了を押して受信状態一覧の画面を消す

- アンテナとの接続について
  ⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき
  ⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。

お知らせ

BS・110度CSデジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。BS・110度CSデジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

110度CSデジタル放送を初めて選局するときは

①CSデジタル放送を選びCS100chを選局し、約5秒待つ
（2020年8月現在CS001chは放送されていません。"現在放送されていません。[E203]"と表示されますが、そのままお待ちください。）

②CS001chを選局し、約5秒待つ
（2020年8月現在CS001chは放送されていません。"現在放送されていません。[E203]"と表示されますが、そのままお待ちください。）

③番組表で選局したい放送局のチャンネル番号が表示されている事を確認する（⇒ 2-3ページ）

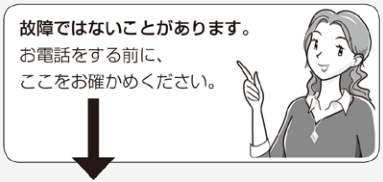
BS4K・110度CS4K放送を初めて選局するときは

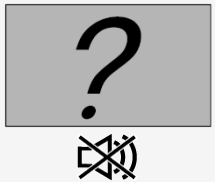
- 「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ放送設定」ー「BS4K・CS4K放送チャンネルサーチ」を行ってください。

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは



こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない 	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 電源ランプが緑色に点灯していますか。	同梱の取扱説明書
	アンテナケーブルは接続されていますか。	
	端子を間違えて接続していませんか。	
	アンテナケーブルが切れていませんか。	

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

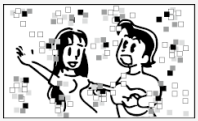
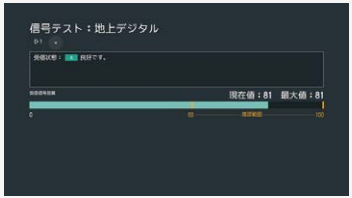
テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない 	テレビ放送を見たいのに、入力１などに切り換えられていませんか。 「地上」「BS」ボタンを押してみてください。	1-2
	外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。 「入力切換」ボタンを押して入力を切り換えてみてください。	1-2
	「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定・受信確認」ー「選局中チャンネル(BS・CSアンテナ電源)」でBS・CSアンテナ電源を「入」にしてみてください。	8-1～8-4

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
テレビ放送画面の動きが止まってしまったり、ノイズが出る 	VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。 ノイズがでるときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	同梱の取扱説明書
	アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	
	アンテナの向きは正しいですか。	
	事象が出るチャンネルに選局し、「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定・受信確認」で選局中のチャンネルが、「[A]良好です。」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒7-30ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。 	8-1～8-7
	110度CSデジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は110度CS帯域対応のものを使用していますか。	—
	BS4K・110度CS4K放送の場合は、アンテナケーブルや分配器はSHマークに対応したものを使用していますか？	—
特定のチャンネルだけ映らない	WOWOWやスターチャンネル、スカパー　！ は有料です。視聴するためには契約をしてください。	—
	映らないチャンネルを選局し、「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定・受信確認」ー「選局中チャンネル(BS・CSアンテナ電源)」で、アンテナの受信強度を確認してください。	6-14・8-1～8-7

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。	—
	アンテナ線は正しく接続されていますか。	同梱の取扱説明書
	お住まいの地域を地域選択で正しく設定し、地上デジタル放送チャンネルサーチを実行しましたか。	8-8
	チャンネル設定は正しくされていますか。	8-15～8-16
	引っ越したときなどは、「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ機能設定」ー「かんたん初期設定」を行ってください。	同梱の取扱説明書
BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。強風などでアンテナの向きが変わっていませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
4K放送が受信できない	屋外アンテナの向きやケーブルの配線を確認してください。	同梱の取扱説明書
	表示されないチャンネルを選局し、「設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定・受信確認」ー「選局中チャンネル(BS・CSアンテナ電源)」をお試しください。各衛星放送の受信状態を確認できます。	6-14
4K放送の特定のチャンネルが受信できない	表示されないチャンネルを選局し、「設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定・受信確認」ー「選局中チャンネル(BS・CSアンテナ電源)」をお試しください。各衛星放送の受信状態を確認できます。	6-14・7-2
4KのCS放送が受信できない、ときどき止まる	「設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定・受信確認」ー「信号テスト」の「CS4K(左旋)」をお試しください。	6-14・7-2
	屋外アンテナの向きやケーブルの配線を確認してください。 また分配器、分波器、ブースター、ケーブル等が左旋円偏波対応していない可能性があります。販売店などにご相談ください。	
BSデジタル放送のハイビジョン放送は受信できるが、4K放送が受信できない、ときどき映像が乱れる	BSデジタルは視聴できますが、BS4Kが視聴できない場合があります。 「設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定・受信確認」ー「信号テスト」の「BSデジタル・BS4K(右旋)」をお試しください。	6-14
	BS4Kを視聴する場合、受信品質が60以上になるように、屋外アンテナの向きやケーブルの配線の確認、ブースターの調整をしてください。 屋外アンテナの点検は、販売店などにご相談ください。	

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
番組表が表示されない 番組表に表示されない番組がある	地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ放送設定」ー「番組表取得設定」を「入」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。	6-15
	番組表が表示されていないチャンネルに選局し、2分程度お待ちください。	—
	電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
色が薄い（白っぽい） 色あいが悪い	お困り解決ナビで詳細を確認できます。	お困り解決ナビ
	AVポジションを変更することで、改善する場合があります。 「ツール」ー「映像調整」ー「AVポジション」で設定を変更してみてください。	6-58～6-59
	「ツール」ー「映像調整」ー「色の濃さ」、「色あい」を調整してみてください。	6-61・6-62
	パネルの視野角特性により斜め方向から見ると映像内容によっては、色が薄くなったり、色あいが変わったりする場合がありますが故障ではありません。	—
画面が暗い	お困り解決ナビで詳細を確認できます。	お困り解決ナビ
	明るさセンサーの前に物などを置いていませんか。	同梱の取扱説明書
	AVポジションを変更することで、改善する場合があります。 「ツール」ー「映像調整」ー「AVポジション」で設定を変更してみてください。	6-58～6-59
	「ツール」ー「映像調整」ー「明るさ」を調整してみてください。明るさセンサーが有効になっているときは、変更できません。	6-60

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
黒色が潰れる	「ツール」ー「映像調整」ー「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」ー「ガンマ」を調整してみてください。	6-60～6-61・6-66
画面がちらついたり、ざらついたりする	「ツール」ー「映像調整」ー「プロ設定」ー「ノイズリダクション」を、「自動」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。	6-66

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビ視聴や画面

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
時計表示が画面に出ない、または消えない	アプリ実行中は表示できません。テレビ放送、外部入力視聴中のみ表示できます。	—
	リモコンの画面表示/時計ボタンを繰り返し押してみてください。	2-9
	「ツール」ー「基本設定」ー「日付と時刻」ー「時計表示」の設定を確認してください。	6-20
字幕表示が画面にでない	放送によっては、字幕を送っていない場合があります。	—
	字幕ボタンを押し、「表示方法」が「切」になっていませんか。	2-18
地上デジタルの放送局のマークが表示されない	地上デジタルの各放送局をしばらく視聴すると、放送局のマークが表示されます。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビ視聴や画面

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
数字ボタンを押しても選局できない	デジタル放送視聴中ではないときは、数字ボタンで選局できません。 リモコンの地上、BS、CS、4Kボタンを押してデジタル放送に切り換えてから選局してください。	同梱の取扱説明書
ソフトウェア更新中、テレビが操作できない	ソフトウェア更新中はテレビの操作ができません。 ソフトウェア更新が完了するまで数分から数十分お待ちください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンは動作しているが、画面が動かない。遅れて動く。	同梱の取扱説明書の「本機の操作ができなくなったときは」をご確認ください。	同梱の取扱説明書
	画面が動かない場合はテレビが操作を処理できていない場合があります。本体の電源ボタンを5秒以上押し続けて再起動してください。本機の電源がいったん切れますので、約1分待ってから電源ボタンを押して電源を入れてください。	—
映像は出るが音声が出ない	音量調整が最小になっていませんか。	同梱の取扱説明書
	「消音」状態になっていませんか。 リモコンまたは本体の音量＋ボタンで音量をご確認ください。	同梱の取扱説明書
	ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。	1-9
	外部スピーカーを接続している場合、ファミリンクボタンを押し、「スピーカー切換」を「TV」に設定してください。	—
音声は出るが映像が出ない	「ツール」ー「視聴操作」ー「映像オフ」中ではありませんか。映像オフは、音量以外のボタンを押すと画面が表示されます。	6-15・6-51
	接続ケーブルが抜けていませんか。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
テレビ放送と各入力の音量が違って聞こえる	接続されている機器や、再生するディスク等により入力される音声レベルが異なる場合があります。	同梱の取扱説明書
BDレコーダーなどの外部機器の映像が映らない、外部機器の映像が映らなくなった	外部機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	—
	外部機器の電源は入っていますか。	—
	外部機器を接続している入力を選んでいますか。	1-2
	外部機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	—
リモコンで電源を切った後などに、ときどき「ピシッ」や「カチ」と音がする	温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	—
	本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 • ダウンロードをしている場合 • 有料放送の契約情報を取得している場合 • 地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
テレビの上部が熱い	内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。	—
	本体の温度が異常に上昇したときは、「本機の温度が上昇しています」と通知され、その後温度が下がらない場合は、自動的に電源が切れます。	—
勝手に電源が切れる	自動で電源がオフになるモード(「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ機能設定」ー「安心・省エネ」ー「無操作オフ」、「無信号オフ」など)になっていませんか。受信機レポートで確認してください。	6-44
本体の電源ボタンを押しても電源ランプが消えない	本体の電源ボタンを押して電源を切っても電源ランプは消えません。ランプを消すには、電源プラグを抜く必要があります。	—
勝手に電源がつくことがある	「おはようタイマー」の設定が「入」になっていませんか。 設定をご確認ください。	2-15・6-17

故障かな？

故障かな？と思ったら

操作やメニュー

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
本体のボタンの操作ができない	外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。リモコンで本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。	—
	本体操作ロックが設定されていませんか。誤って設定してしまった場合は、「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ機能設定」ー「安心・省エネ」ー「本体操作ロック」で「しない」を選んでください。	6-28
入力切換しても選べない	「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「外部入力表示」で非表示になっていませんか。	6-11
表示されない設定項目がある	受信している放送や起動しているアプリによっては、表示されない項目や設定できない項目があります。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

リモコン関連

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンが動作しない	テレビ本体の電源ランプが緑色に点灯していますか。	—
	乾電池の極性（＋、－）が逆になっていませんか。	同梱の取扱説明書
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。 リモコンの使用頻度により乾電池の消耗が早くなる場合があります。 リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、早めに新しい電池と交換してください。	同梱の取扱説明書
	新しい電池を入れた直後は、動作しない場合があります。少し待ってからお試しください。	—
	リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。	同梱の取扱説明書

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

リモコン関連

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンが動作しない	リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	—
	以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 • 照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにありませんか。 • 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） • 電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。 • 室温が極端に低下していませんか。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

リモコン関連

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
Google アシスタントボタンを押しても反応しない	「ツール」ー「基本設定」ー「テレビ機能設定」ー「リモコン設定」ー「ペアリング開始」からペアリングを行ってください。ペアリング開始が選択できない場合は、その下の「ペア解除」を行ってから、ペアリングを開始してください。	6-23

故障かな？

故障かな？と思ったら

インターネット関連

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
インターネットに接続できない	お困り解決ナビで詳細を確認できます。	お困り解決ナビ
	LAN ケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。	—
	【パソコンをお持ちの場合】 ご使用になっているLANケーブル(CAT5以上)をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 接続できる場合は、ブロードバンドルーターからLAN側(本機側)の接続・設定を確認してください。 接続できない場合は、ブロードバンドルーターからWAN側(プロバイダー側)の接続・設定を確認してください。	—
	【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。	—
	外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。本体の電源ボタンで電源を切り、1分間放置した後、再度電源を入れてください。	—

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください		参照ページ
無線LANで接続できない	「本機をインターネットに接続するためのLAN環境」をご覧いただき、インターネット環境をご確認ください。		3-4～3-5
	「無線LAN使用上のご注意」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。		同梱の取扱説明書
	無線LANの接続設定を実施されましたか。「アクセスポイントに接続する」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。		3-12
	ブロードバンドルーターやアクセスポイントの設定は正しく設定されていますか。機器の取扱説明書をご確認ください。		—
	正常動作の表示がされない場合 次のことを確認してください。	アクセスポイントの電源が入っていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。	—
		アクセスポイントの設定はされていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。	—
		すでにアクセスポイントに接続している機器はありますか。接続している機器の数や設定によっては、接続できない場合があります。本機のみ接続して確認してください。	—
		アクセスポイントを複数台お使いですか。無線のチャンネルや周波数が競合していないか確認してください。	—
		有線接続で接続できますか。「ネットワークの設定を確認する」の手順で、インターネット環境が正しく接続されているか確認してください。	3-31～3-32

次ページへつづく⇒

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像や音声が途切れる、またはつながらなくなった	無線LANアクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が小さくなり通信が途切れたり届かなくなります。「無線LAN接続設定を確認する」をご覧いただき、受信レベルが良好になるように設置位置を変えてみてください。	3-24～3-26
	ご使用の無線LANアクセスポイントが高速無線通信（802.11n／5GHz／40MHz）に対応していない場合、通信速度が足りず視聴ができない場合があります。無線LANアクセスポイントの対応方式と設定を確認してみてください。	—
	無線LANアクセスポイントは、本機以外に、パソコン/ゲーム機などを無線LANで接続していますか。無線LANアクセスポイントに複数のネットワーク機器を同時使用する場合、通信速度が落ちて視聴に影響を与える場合があります。他の機器の接続を停止して本機だけ接続してみてください。	—
	電子レンジ／他の通信機器などを使用していますか。同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉、電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害の影響で、通信速度が落ち視聴に問題を与える場合があります。他の通信機器の電源を落として確認してみてください。またはアクセスポイントの設定で通信周波数を変更してみてください。	—
	無線LANアクセスポイントに、本機および他の機器から無線設定を行うと、アクセスポイントの無線設定が変更される場合があります。アクセスポイントの設定を確認してみてください。	—
	「無線LAN使用上のご注意」も、合わせてご覧ください。	同梱の取扱説明書

故障かな？

故障かな？と思ったら

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
無線接続設定ができない	無線LANアクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が弱くなり接続できない場合があります。本機の近くに設置して再度設定してみてください。	3-12～3-13
WPSプッシュボタン方式で接続できない	無線LANアクセスポイントはWPSプッシュボタン方式に対応していますか。機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	無線LANアクセスポイントによっては、WPSボタンを長く押し続ける（約5秒以上など）必要があります。機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	アクセスポイントの設置場所が本機から遠い場所にあるなどにより、メニューで「アクセスポイントのWPSボタンを5秒以上押してください」が表示されてから、アクセスポイントのWPSボタンが押されるまでに時間がかかると、接続に失敗する場合があります。アクセスポイントを本機の近くに設置して、短時間でWPSボタンを押せるようにしてから再度設定してみてください。	3-12～3-13

映像配信サービス関連について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像や音声がときどき停止する	映像配信サービスをお楽しみになる場合は、インターネット環境などが必要です。	3-1
	ご家庭のインターネット環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでも映像配信サービスの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度映像配信サービスを再生してみてください。	—
	本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続してください。	3-4～3-5
	ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーにご確認ください。	—
	光回線（FTTH）をご利用の場合でも、ご加入のプランによっては映像配信サービスを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーにご確認ください。	—
映像配信サービスの画質が悪い	デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。	—
	映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	—
	インターネット接続速度の影響で画質が低下する場合があります。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

ファミリンク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ファミリンク連携が正常に動作しない	「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「ファミリンク」ー「レコーダー選択」を確認し、録画、ファミリンク連携に使用する機器を選択してください。	6-6
	「ツール」ー「基本設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「ファミリンク」ー「ファミリンク制御（連動）」が「入」になっていることを確認してください。	6-6
	レコーダーの設定でファミリンク機能が有効になっていることを確認してください。詳しくはレコーダーの取扱説明をご確認ください。	—
	テレビとレコーダーの電源を、それぞれ入れ直してみてください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

Bluetooth関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ペアリングしたBluetooth®機器が接続できない	一度ペアリングを解除し、もう一度ペアリングを行ってください。	6-22
Bluetooth®機器をペアリングできない	テレビとペアリングをしたい機器が登録待機状態であるか確認してください（機器によってはペアリングボタンを押す必要があります）。	—
	Bluetooth®機器を本機に近づけてみてください。	—
	お使いのBluetooth®機器の最新バージョンのソフトウェアが入手可能かを確認してください。	—

	ビジュアルガイド • リモコン番号切換について動画で案内しています。 • 当サイト及び動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。 • 通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。 • QRコードが読み取れない場合は、「シャープサポート ビジュアルガイド」で検索いただくか、下記アドレスを直接入力してください。 シャープサポート　ビジュアルガイド　検索 https://jp.sharp/support/aquos/visualguide.html （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

故障かな？

エラーメッセージが出たら

アンテナ受信強度に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	参照ページ
[B]受信品質が不足しています	• 各放送の信号テストで、受信品質の値が安定的に視聴できる範囲に入るように、アンテナの向きやブースターの調整が必要です。 • ブースターをご利用になっている場合は、受信強度が推奨範囲に入るように調整してください。 • 屋外アンテナの点検は、販売店などにご相談ください。	8-1～8-7
[C]受信強度が強すぎます。または不足しています。	• 受信強度が強すぎたり、不足しているため、受信障害が発生しています。不足している場合は、ブースターの挿入や調整が必要です。強すぎる場合は、ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 • ブースターをご利用になっている場合は、受信強度が推奨範囲に入るように調整してください。 • 販売店などにご相談ください。	—
	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。	—
[D]受信状態が良くありません。	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	—
[E]受信できません。	アンテナが正しく設置されているか確認してください。	—
	アンテナ線を確認してください。 • 改善しないときは、屋外アンテナの点検が必要です。 • 新4K8K衛星放送の場合、アンテナ、分配器、分波器、ブースター、ケーブル等が左旋円偏波対応していない可能性があります。 • 点検、右左旋円偏波対応製品については、販売店などにご相談ください。	同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」
	アンテナ電源の設定が合っているか確かめてください。	8-1～8-7

放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 • 契約確認のためACAS番号が必要な場合があります。 「ツール」ー「基本設定」ー「端末情報」ー「ACAS番号表示」で番号を確認してください。	—

故障かな？

エラーメッセージが出たら

放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	8-22
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	****	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	—
放送が受信できません • リモコンの【地上】【BS】【CS】【4K】ボタンを押して見たい放送が受信できるか確認してください。 • アンテナケーブルが正しく接続されているか抜けやゆるみがないかを確認してください。	E202	アンテナ線を確認してください。	同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」
		アンテナの設定と受信強度を確認してください。	7-1～7-4・8-1～8-7
		雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	—

次ページへつづく⇒

放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
現在放送されていません。 • 番組表などで放送時間を確認してください。 • アンテナケーブルが正しく接続されているか抜けやゆるみがないかを確認してください。 • 地上デジタル放送の場合は、「テレビ放送設定」内の「地域」と「チャンネル設定」を確認し、正しく登録されているか確認してください。（登録できていない場合は、チャンネルサーチをおすすめします。）	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	—
		受信強度を確認してください。	7-1～7-4・ 8-1～8-7
		雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	—
このチャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	—
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 BSやCSが受信できないときは、一度テレビの電源を切り、アンテナを再接続してから、電源を入れ直してください。	****	電源を入れ直してください。	—
		BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	8-1～8-7・ 同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 • 契約確認のためACAS番号が必要な場合があります。「ツール」ー「基本設定」ー「端末情報」ー「ACAS番号表示」で番号を確認してください。
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 • 契約確認のためACAS番号が必要な場合があります。「ツール」ー「基本設定」ー「端末情報」ー「ACAS番号表示」で番号を確認してください。
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
本機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USB利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。

リモコン電池に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
リモコンの電池交換時期が近づいています。	リモコンに使用している電池の電圧が低下しています。早めに電池を交換してください。

双方向通信に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
アクセスできませんでした。[C204]	C204	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
まだルート証明書※2 を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。
まだ新しいルート証明※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。

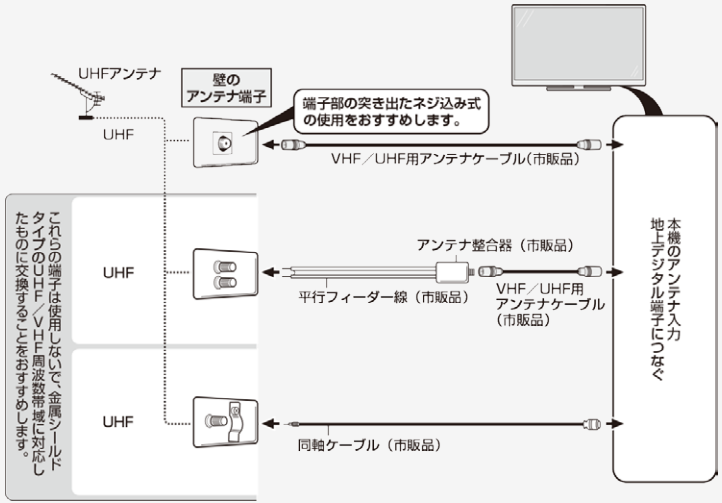
※ 1 サーバー証明書…暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※ 2 ルート証明書…暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

故障かな？

こんなときは

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合について

- 壁のアンテナ端子のかたちが同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」の記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。



停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

- テレビにおける設定内容（設定項目、音量など）は保持されます。
- 停電前の状態や設定は解除されることがあります。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。
  初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」）を行ってください。
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナの電源の設定を変える/電波の強さ(受信強度)を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重要 ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える/電波の強さ(受信強度)を確認する

1. BS を押してBSデジタル放送を選ぶ
   - 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。
   - 「視聴年齢制限」(⇒6-29ページ)をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、 決定 を押す

次ページへつづく⇒

デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える/電波の強さ(受信強度)を確認する(つづき)

3. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」を選び、決定を押す
4. 「アンテナ設定・受信確認」を選び、決定を押す
5. 上下カーソルボタンで「選局中チャンネル(BS・CSアンテナ電源)」を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する(つづき)

◆アンテナに電源を供給するための設定

6. 上下左右カーソルボタンで「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	• 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。(リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。)
入	• 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

◆受信強度の調整

7. 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する
   - 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。(アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える/電波の強さ(受信強度)を確認する(つづき)

8. 調整が終わったら 決定 を押す
   - 操作を終了する場合は、 終了 を押します。

お知らせ

- 8-4ページの手順7で「受信状態：[A]良好です」と表示されないときは、⇒ 7-30ページをご覧になり適切な処置を行ってください。
- 8-4ページの手順6または手順7の画面で、「受信状態一覧へ」を選び 決定 を押すと受信状態一覧画面が表示されます。
  (⇒7-3ページ)
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。(表示される数値は、受信C/N※の換算値です。)

  ※受信C/Nとは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CSアンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。

次ページへつづく⇒

デジタル放送用アンテナの設定をする

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。

1. 8−2～8−3ページの手順1～4を行い、「地上デジタル」、「BSデジタル・BS4K(右旋)」、「CSデジタル(右旋)」、「BS4K(左旋)」、「CS4K(左旋)」の中から確認したい項目を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

デジタル放送用アンテナの設定をする

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは（つづき）

2. カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定を押す
   - 「受信状態：[A]良好です」と表示されていることを確認してください。
   - 「受信状態：[A]良好です」と表示されないときは、
     アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ
     （⇒7-30ページ）をご覧になり、適切な処置を行ってください。
3. 操作を終了する場合は、終了または戻るを押す

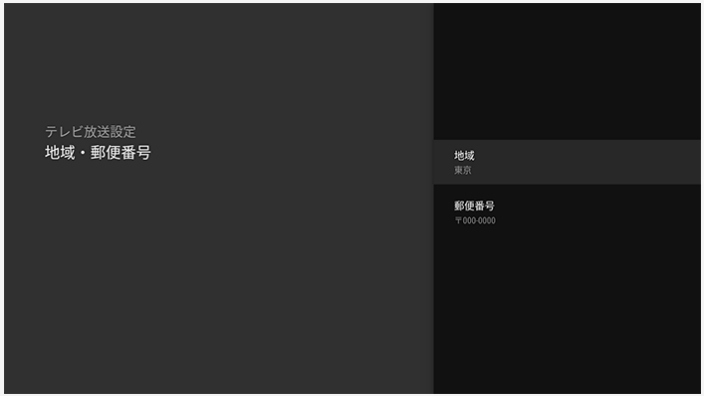
デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- 地上デジタル放送の地域情報（緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報）をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、 決定 を押す
2. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」ー「地域・郵便番号」ー「地域」を選び、 決定 を押す

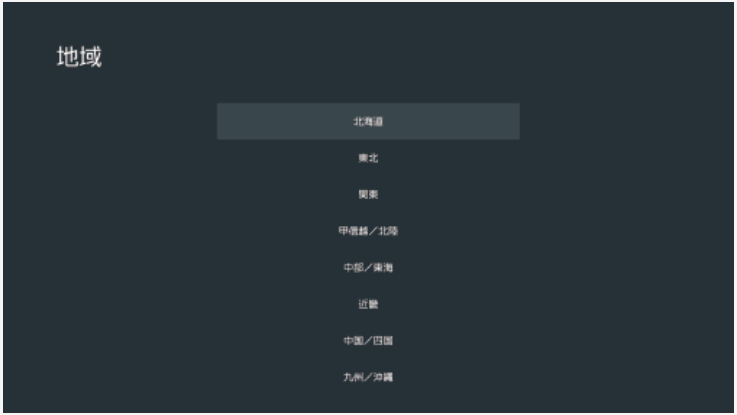


次ページへつづく⇒

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

地域選択（つづき）

3. お住まいの地域を選び、決定を押す



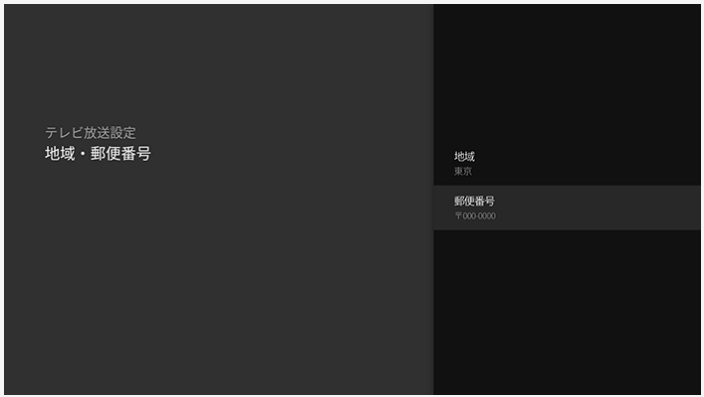
- 地域選択を変更した場合は、あとで「テレビ放送設定」から「地上デジタル放送チャンネルサーチ」を行ってください。（⇒ 8-12ページ）

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

郵便番号設定

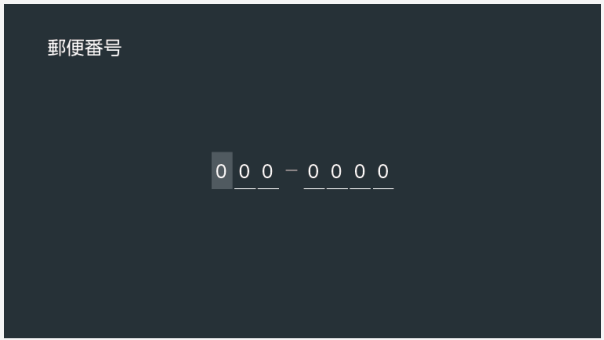
1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、 決定 を押す
2. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」ー「地域・郵便番号」ー「郵便番号」を選び、 決定 を押す



お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

郵便番号設定（つづき）

3. 数字ボタンで郵便番号を入力し、決定を押す

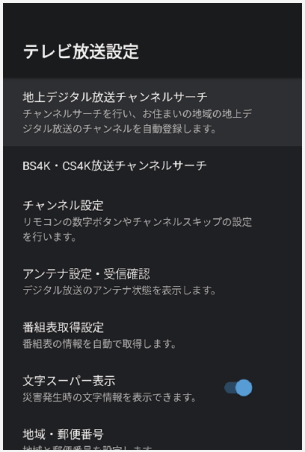


- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで数字を選び直します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。「地上デジタル放送チャンネルサーチ」の前に、必ず「地域・郵便番号」設定をしてください。

1. 地上デジタル放送を選局する
2. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、 決定 を押す
3. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」ー「地上デジタル放送チャンネルサーチ」を選び、 決定 を押す



次ページへつづく⇒

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

4. 「初期サーチ」を選び、決定を押す





デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

◆ 重要◆

「初期サーチ」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「追加サーチ」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で(決定)を押します。

お知らせ

地上デジタル放送のCATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATVによる地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。
- CATVパススルー方式とは、CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

BS4K・110度CS4K放送のチャンネルを追加するときは

1. (映像調整 ツール)を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、(決定)を押す
2. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」ー「BS4K・CS4K放送チャンネルサーチ」を選び、(決定)を押す
3. 左右カーソルボタンで「はい」を選び、(決定)を押す

デジタル放送のチャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

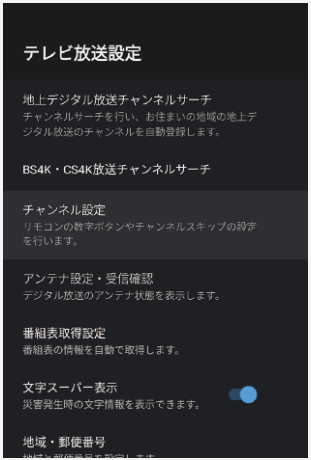
項目	内容
リモコン番号	• リモコンの数字ボタンを押したときに受信するチャンネルを設定します。
選局スキップ	• 選局（∧順／∨逆）ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「基本設定」を選び、 決定 を押す
2. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」ー「チャンネル設定」を選び、 決定 を押す
3. 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」「BS4K・CS4K」「ネットチャンネル」のいずれかを選び、 決定 を押す
   - 「ネットチャンネル」を選んだ場合は、手順6に進みます。
4. 上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、 決定 を押す
5. 上下カーソルボタンで数字を選択して、 決定 を押す
6. チャンネルをスキップする場合は、

   ①上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、右カーソルボタンで「選局スキップ」を選び、 決定 を押す

   ②上下カーソルボタンで「する」を選び、 決定 を押す

   - 操作を終了する場合は、 終了 を押します。



次ページへつづく⇒

デジタル放送のチャンネルの個別設定

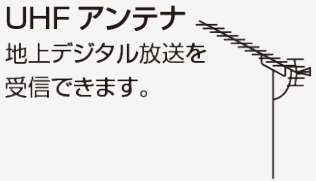
お知らせ

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1～12の数字ボタンの番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

放送の種類について

地上デジタル放送



特長

- ワイド画面とデジタルハイビジョン画質
- 多チャンネル放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナがUHF対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。VHFアンテナでは受信できません。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

お知らせ

- ARIB放送規格の変更により、本機のホーム画面などの仕様が変わる場合があります。
- ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

放送の種類について

BS・110 度 CS 共用アンテナ

BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
（他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。）



BSデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- ワイド画面とデジタルハイビジョン画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）

受信に必要なアンテナ

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

お知らせ

- BS・110度CS共用アンテナでは、BS4K・110度CS4K放送の左旋帯域のチャンネルはご覧いただけません。SHマークのついた右旋・左旋対応のBS・110度CSアンテナ設備が必要です。また分配器、分波器、ブースター、ケーブル等に交換が必要な場合があります。

放送の種類について

110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
- 従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。

BS4K・110度CS4K放送

特長

- 2018年12月から開始された新4K8K衛星放送のうち、放送衛星(BS)・東経110度にある通信衛星（CS）を使った4K放送です。
- 映画、スポーツ、音楽など様々なジャンルの番組を4K画質でご覧いただけます。
- 有料放送を視聴になる場合は、受信契約が必要です。

受信に必要なアンテナ

- 従来のBS・110度CS共用アンテナ（市販品）またはBS4K・110度CS4K放送対応のアンテナ（市販品）が必要です。
- 従来のBS・110度CS共用アンテナ（市販品）では、110度CS4K放送など左旋帯域のチャンネルはご覧いただけません。
  また分配器、分波器、ブースター、ケーブル等に交換が必要な場合があります。

放送の種類について

◆重要◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの映像が放送されるサービスです。
  下記手順で切り換えることができます。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「映像切換」を選び、 決定 を押す

次ページへつづく⇒

デジタル放送のその他の特長

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

BSデジタル/BS4K放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定で切り換えます。
  BSデジタル放送の場合は、下記手順で元の映像に戻ることができます。BS4K放送の場合は、受信状態が回復すると、自動的に元の放送画面に戻ります。

1. 映像調整 ツール を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「映像切換」を選び、決定を押す

画面例



放送の種類について

110度CSデジタル放送のみの専用サービス

ボード（掲示板）

- プラットフォーム（スカパー　！）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。ホーム画面からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。
（⇒6-44ページ）

（画面例）



放送の種類について

WOWOWやスカパー ！ などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー ！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、カスタマーセンターにお問い合わせください。
  2020年8月現在
- BS・110度CSの4K放送で有料放送をご視聴・ご契約になるには、ACAS番号が必要になります。「ツール」ー「基本設定」ー「端末情報」ー「ACAS番号表示」で番号を確認できます。（⇒6-48ページ）

WOWOW

WOWOWカスタマーセンター

電話番号	0120ー580ー807
受付	9:00～20:00（年中無休）
ホームページ	http://www.wowow.co.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

スターチャンネル

スターチャンネル カスタマーセンター

電話番号	0570ー013ー111（ナビダイヤル） または044ー540ー0809
受付	10:00～18:00（年中無休）
ホームページ	http://www.star-ch.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- スターチャンネルの加入申し込みは、⇒ 8-25ページのスカパー ！カスタマーセンターへお問い合わせください。

次ページへつづく⇒

放送の種類について

WOWOWやスカパー ！ などの有料放送を見るときは

スカパー ！

スカパー ！カスタマーセンター（総合窓口）

電話番号	0120－211－855
受付時間	10:00～20:00（年中無休）
ホームページ	http://www.skyperfectv.co.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

お知らせ

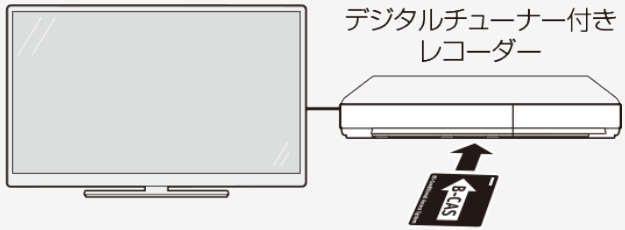
- 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

次ページへつづく⇒

WOWOWやスカパー ！ などの有料放送を見るときは

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。



有料放送で登録したB-CASカードは、
レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

用語の解説

1080i
有効走査線1080本かつ、インターレース方式の映像のことです。

1080p
有効走査線1080本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

1080/24p
有効走査線1080本かつ、24p(1秒あたり24コマ、プログレッシブ方式)の映像のことです。

1080/60p
有効走査線1080本かつ、60p(1秒あたり60コマ、プログレッシブ方式)の映像のことです。

16:9
画面比率(アスペクト比)が横16に対し、縦9の比率になるサイズのことです。

次ページへつづく⇒

用語の解説

2160p
3,840×2,160の解像度のことです。

480i
有効走査線480本かつ、インターレース方式の映像のことです。

480p
有効走査線480本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

4K/60p
4K（3,840×2,160）の解像度かつ、60p（1秒あたり60コマ、プログレッシブ方式）の映像のことです。

720p
有効走査線720本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

次ページへつづく⇒

用語の解説

AAC（Advanced Audio Coding）
音声圧縮方式のひとつです。MP3を超える高音質・高圧縮を目的に標準化された方式です。

ARC（Audio Return Channel）
HDMIケーブルを使ってテレビからオーディオ機器などに音声を送る機能です。
従来はHDMIケーブルだけで音声を送ることができなかったため、光デジタルケーブルの接続が必要でしたが、この機能によりHDMIケーブル1本だけで音声を送ることができるようになりました。

Bluetooth
近距離無線通信規格のひとつです。テレビ、キーボードやマウス、スマートフォン、オーディオなど様々な機器で採用されています。

次ページへつづく⇒

用語の解説

HDMI（High Definition Multimedia Interface）

映像・音声をデジタル信号で伝送する通信インターフェイスの標準規格で、おもにテレビやレコーダーなどのAV機器で採用されています。

HDR（High Dynamic Range）

カメラが捉えた明るさの情報(輝度)を従来より広い幅で記録し、再生時にテレビ側で復元する技術です。
これにより、同一映像内での表現が難しかった光の輝きなどの明部階調から暗部階調までをリアルに再現できるようになりました。

次ページへつづく⇒

用語の解説

VOD（Video On Demand）

インターネットを利用した動画配信サービスです。
映画やテレビ番組など様々なコンテンツの中から好きなものを選んで再生することができます。

ハイブリッドキャスト

放送と通信を連携させたテレビサービスです。
ニュースや気象をはじめ、番組に関するさまざまな情報を提供しています。

次ページへつづく⇒

英数字・記号／五十音

英数字・記号
あ行
か行
さ行
た行
な行
は行
ま行
や行
ら行
わ行

その他／索引

索引

- 本体およびリモコンの「各部のなまえ」については同梱取扱説明書をご覧ください。
- 用語については⇒ 8-27～8-31ページをご覧ください。

英数字・記号	
110度CSデジタル放送	7-4・8-19・同梱取扱説明書
3桁入力	6-52
AAC	8-29
ACAS番号表示	6-48
AQUOSオーディオ	5-3～5-4・5-18
AQUOSコネクト	6-4
ARC	5-3・5-18・6-10
AV入力	5-20・5-24・5-31・5-32
AVポジション（画質切換）	6-58～6-59

次ページへつづく⇒

索引

英数字・記号	
B-CASカード	8-26
Bluetooth®	6-22・7-28
BS・CSアンテナ電源	8-1・8-4
BS4K・110度CS4K	7-4・8-14・8-19
BSデジタル放送	8-2・8-18
CATV（ケーブルテレビ）	同梱取扱説明書
Dot by Dot（ドット・バイ・ドット）	6-56
DTCP-IP	4-21
DVI端子	5-31
Google アカウント	1-6・6-49
Google アシスタント	1-7

次ページへつづく⇒

索引

英数字・記号	
HDMI	5-1～5-8・5-19・5-22・5-31・5-32
HDMI対応信号モード	5-9・6-7
HDR映像	5-9
HDRガンマ	6-66
IPアドレス	3-29
JPEG	4-3・4-19
Language（言語）	9-11～9-13
LAN設定	3-1～3-32
PC（AVポジション）	6-58
PCM	6-10
USBメモリー	4-1～4-4

次ページへつづく⇒

索引

あ行	
明るさ	6-60
アクティブコントラスト	6-65
暗証番号	6-29
安心・省エネ	6-27～6-28
アンダースキャン	6-55
アンテナ設定	8-1
アンテナの接続	同梱取扱説明書
色あい	6-62
色温度	6-64
色の濃さ	6-61
インターネット	3-1～3-32
映画	6-58

次ページへつづく⇒

索引

あ行	
映像レベル	6-61
映像切換	2-16・6-53
映像調整	6-58～6-62
枝番	8-16
オートボリューム	6-69
お知らせ	6-44
お手入れのしかた	同梱取扱説明書
おはようタイマー	2-15
オフタイマー	2-11～2-12
おやすみタイマー	2-13～2-14
音声切換	2-17・6-53
音声調整	6-68～6-74

次ページへつづく⇒

索引

か行	
外部端子・ファミリンク	6-6～6-11
外部入力表示	6-11
壁掛視聴設定	6-73
画面サイズ	6-55
画面表示設定	6-26
画面表示	2-9・2-10
かんたん初期設定	同梱取扱説明書
乾電池の入れかた	同梱取扱説明書
ガンマ	6-66
キャスト	1-8
クイック起動	6-25
黒レベル	6-61

次ページへつづく⇒

索引

か行	
ケーブルテレビ（CATV）	8-14・同梱取扱説明書
ゲーム（AVポジション）	6-58
降雨対応放送	8-22
高音	6-70
声の聞きやすさ	6-74
コンテンツプレーヤー	4-1～4-16
さ行	
サーバー証明書	7-36
再起動	6-47
サラウンド	6-71
時刻の設定	6-21
視聴操作	6-51～6-57

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
視聴年齢制限	6-29
シネマ(画面サイズ)	5-29・6-56
字幕表示／字幕言語切換	2-18～2-20
シャープネス	6-62
受信強度	8-2～8-7・同梱取扱説明書
受信機レポート	6-44
仕様	同梱取扱説明書
消音	同梱取扱説明書
使用温度	同梱取扱説明書
スタンド	同梱取扱説明書
設定	6-1～6-49

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
選局	同梱取扱説明書
選局キー	6-6
選局スキップ	8-15
ソフトウェアキーボード	6-76
ソフトウェアの更新	6-46
た行	
ダイナミック／ダイナミック（固定）	6-58
タイマー	2-11～2-15
地域	8-8～8-10
地上デジタル放送	8-8～8-14・8-17・同梱取扱説明書
チャンネル	同梱取扱説明書
チャンネル設定	6-13・8-15～8-16

次ページへつづく⇒

索引

た行	
チャンネル番号（3桁）	2-3・8-16
通信設定	3-6～3-30・6-3～6-4
ツール	6-50～6-75
低音	6-70
データ放送	2-1～2-2・8-17～8-20
デジタル音声設定	6-10
テレビ放送設定	6-12～6-15・8-2～8-15
テレビ/ラジオ/データ	2-2
電源コードをつなぐ	同梱取扱説明書
転倒防止	同梱取扱説明書
時計表示	6-20

次ページへつづく⇒

索引

な行	
二重音声	2-17
入力3音声設定	6-9
入力解像度（PC入力信号の解像度）	5-27
入力切換	1-1～1-2・5-30
ノイズリダクション	6-66
ノーマル	5-29・6-55
は行	
早戻し／早送り再生	4-16
バランス	6-70
番組情報	6-51
番組表	2-3
番組表取得設定	6-15
ビットストリーム	6-10

次ページへつづく⇒

索引

は行	
表示言語	2-20
表示方法(字幕表示)	2-18～2-19
標準	6-38・6-39・6-58・6-68・6-74
ファミリンク	5-10～5-11
ファミリンク制御(連動)	6-6
フィルム・デジャダー	6-66
フォト	6-58
付属品	同梱取扱説明書
プラットフォーム(運営会社)	8-24～8-25
フル	5-29・6-55
ブロードバンドルーター	3-2～3-5
プロ設定	6-63～6-66

次ページへつづく⇒

索引

は行	
ヘッドホン/アンプ	1-9・6-8
ペアリング(Bluetoothオーディオ機器)	5-34～5-35・6-22
ペアリング(リモコン)	1-1・6-23
別売品	同梱取扱説明書
放送局メッセージ	6-44
放送切換ボタン(地上／BS／CS)	同梱取扱説明書
ボード	6-44・8-23
本体操作ロック	6-28
ま行	
マルチ音声番組	2-17
無信号オフ	6-28
無線LAN	3-10～3-30

次ページへつづく⇒

索引

ま行	
無操作オフ	6-27
メディア切換	5-14
メディア（テレビ/ラジオ/データ）	6-52
文字サイズ	6-38
文字スーパー表示	6-15
文字入力のしかた	6-76
や行	
有料放送の視聴契約	8-24～8-25
ら行	
リセット	6-45
リモコン番号	6-23
臨時放送（臨時編成サービス）	8-20

次ページへつづく⇒

索引

ら行	
レコーダー選択	6-6
連動起動	6-6
連動データ放送	2-1
わ行	
ワンタッチプレー（ファミリンク）	5-17

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（ 以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL およびLGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWeb サイトをご覧ください。
https://jp.sharp/support/aquos/source/download/index.html（シャープGPL情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

次ページへつづく⇒

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

お知らせ

- 「ツール」ー「基本設定」ー「端末情報」ー「法的情報」ー「ソフトウェアライセンス」を選択すると、本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示することができます。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

MP3 はFraunhofer IIS およびThomson からライセンスされたMPEG Layer-3 音声コーディング技術です。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及びLC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LC フォントでないものも使用しています。

次ページへつづく⇒

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

商標・登録商標・著作権など

- Google、Android、Android TV、Google Play、YouTube、Chromecast built-inは Google LLC の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  非公開機密著作物。著作権1992-2015年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Audio 及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴはWi-Fi Alliance の認証マークです。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA2™ はWi-Fi Alliance の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、シャープ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMI ロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- この製品はDigiOn のDiXiM Android TV SDK を採用しています。「DiXiM」は、デジオンのホームネットワークソリューションです。詳しくは、デジオンWeb サイト（http://www.digion.com/）をご覧ください。DigiOn、DiXiM は株式会社デジオンの登録商標です。

次ページへつづく⇒

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

商標・登録商標など（つづき）

- This product is embedded with technology owned by and under license from Broadmedia GC Corporation.
- この製品はEilex International, LLC からの実施権に基づき製造されています。Eilex PRISM、VIR FilterはEilex International, LLCの商標です。
- 本製品は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブルは禁止されています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、ロヴィ社の許可が必要です。また、その使用は、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、およびG ガイドロゴは、米国TiVo Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- G ガイドは、米国TiVo Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。

次ページへつづく⇒

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

商標・登録商標など（つづき）

- 米国TiVo Corporation およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ©2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

商標・登録商標など（つづき）

- パッケージメディアのためのビデオ情報をエンコードするためのMPEG2規格に準拠した、消費者の個人的使用以外の本製品のあらゆる使用は、ライセンスがMPEG LA,L.L.C., 6312 S. Fiddlers Green Circle, Suite 400E, Greenwood Village, Colorado 80111U.S.A.から入手できるライセンスであるMPEG2特許ポートフォリオの適用特許に基づくライセンスがなければ明示的に禁止されております。
- 本製品は、VC-1ポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。

次ページへつづく⇒

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

商標・登録商標など（つづき）

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人のお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、MPEG-4 Visual特許ポートフォリオ・ライセンスに基づき、お客様が個人的に、かつ非商業的な使用のために（i）MPEG-4 Visual規格（「MPEG-4ビデオ」）に従いビデオを符号化すること、および／または（ii）お客様が個人的に、かつ非商業活動のために符号化したMPEG-4ビデオおよび／またはMPEG-4ビデオを提供するライセンスをMPEG LAから供与されているビデオ供給業者から入手したMPEG-4ビデオを復号するためのライセンス供与を受けております。その他の方法による使用については、一切のライセンスが供与されておらず、黙示もされておりません。さらに詳しい情報（販売促進のための使用、社内使用、営業使用およびライセンシングに関する情報を含む）については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。

次ページへつづく⇒

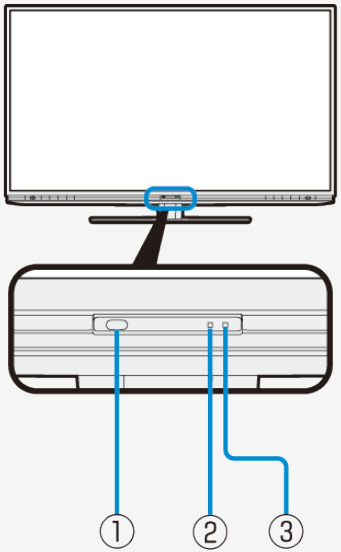
本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

商標・登録商標など（つづき）

- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
- Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

Eilex音声技術について
Eilex PRISM™ は、スピーカーの音響パワー体積密度周波数特性を補正すると同時に、位相のずれを補正します。Eilex PRISMで補正されたスピーカーシステムからは、原音に近い高音質が得られるばかりではなく、自然な音の広がりと奥行、それに明瞭度の高い音声が再生されます。
VIR Filter™ は、オーディオ用に開発された高性能フィルタです。

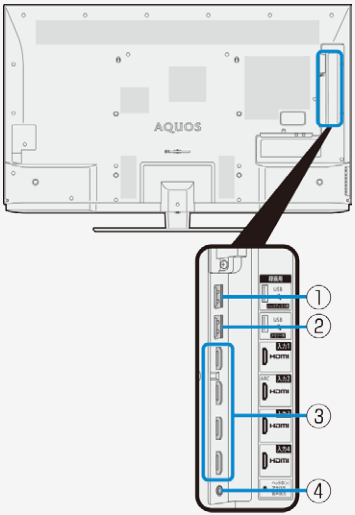
Part Name



FRONT VIEW

	Part Name
①	Remote sensor window / Ambient illumination sensor window • When using the remote control, point its head toward this window.
②	Power indicator
③	Timer program indicator

Part Name



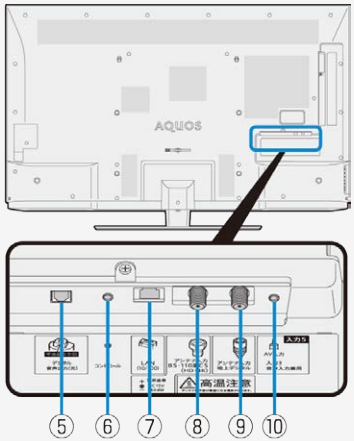
BACK VIEW

	Part Name
①	USB terminal • This terminal cannot be used for USB-HDD recording.
②	USB terminal (For USB memory)
③	AV in 1・2・3・4 (HDMI) • Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.
④	Headphone / Analog audio output jack

Continued on the next page⇒

Part Name

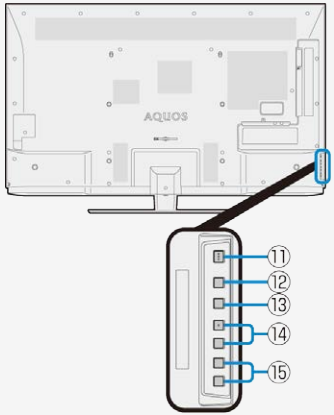
BACK VIEW



	Part Name
⑤	Digital audio output jack (optical)
⑥	Control jack • It is a terminal for maintenance inspection.It is not normally used.
⑦	LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX)
⑧	BS・CS 110 antenna input terminal (HD/4K)
⑨	UHF antenna input terminal
⑩	AV in 5 (AV input)(AV input for input 3) • Connect a video game equipment, video camera, etc. Please use conversion cable on the market.

Part Name

CONTROL PANEL



- Some models have a control panel on the back of the main unit.

	Part Name
⑪	Main power button
⑫	Exit button
⑬	Input / TV select (Enter) button
⑭	Channel up (Λ) / down (V) buttons
⑮	Volume up (+) /down (–) buttons



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
①	Active/Standby • Press to engage the TV set in the active or standby mode.
②	Clock/Display • Press to display or turn off the channel call, clock, etc.
③	Caption
④	Display the Tool Menu
⑤	Terrestrial digital select
	BS select
	CS select
	4K select

Continued on the next page⇒



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
⑥	Channel select • Press to select a channel. Use to input a number for various settings.
⑦	Audio switching • Press to switch to secondary audio.
⑧	Volume up (+)/down (−) • Press to adjust the volume.
⑨	Mute • Press to mute audio.
⑩	Linked data broadcast • Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.
⑪	Channel up (∧)/down (∨) • Press to select channels in the ascending or descending order.

Continued on the next page⇒



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
⑫	Input select • Press to select the input.
⑬	Record • This product does not have a recording function. This button cannot be used.
⑭	Familink • Press to operate "Familink" Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.
⑮	Play control

Continued on the next page⇒



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
⑯	Rewind • Press to rewind. When press repeatedly, the speed gets faster.
⑰	Fast-forward • Press to fast-forward. When press repeatedly, the speed gets faster.
⑱	Freeze • Press to pause the watching recorded program on Famillink Recorder.
⑲	Color • Use to operate EPGs and data program screens.

Continued on the next page⇒



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
⑳	Other on-air programs • Press to display the EPG for currently on-air programs only(裏番組).
㉑	EPG • Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.
㉒	Recording list • This product does not have a recording function. This button cannot be used.
㉓	YouTube
㉔	Google Assistant
㉕	Application
㉖	Home • Press to display the home screen.

Continued on the next page⇒



Part Name

Remote Control Unit

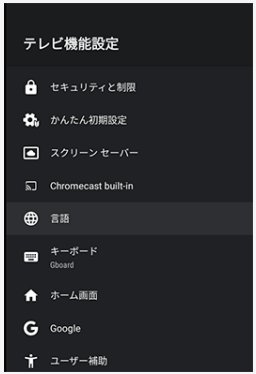
	Button Name
㉗	Cursor (up, down, left, right) • Use to select a menu item, column, etc.
	Enter/Confirm • Press to confirm a selected setting or menu item.
㉘	Exit • Press to finish menu operation, etc.
㉙	Return • Press to go back to the previous screen.
㉚	Direct button • This product does not have the COCORO service function. COCORO VISION, COCORO VIDEO and COCORO CALENDAR buttons cannot be used. • This product cannot be used to view NETFLIX and Amazon Prime Video content. NETFLIX and Amazon Prime Video buttons cannot be used.
㉛	Microphone



Switching the Display Language to English
ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

1. Press 映像調整 ツール (Tool) and select "基本設定" (Basic setting) with cursor button, and then press 決定 (Enter) button.
   (ツールメニューから"基本設定"を選ぶ)
2. Select "テレビ機能設定" with cursor button.
   ("テレビ機能設定"を選ぶ)
3. Select "言語" with cursor button.
   ("言語"を選ぶ)



Continued on the next page⇒

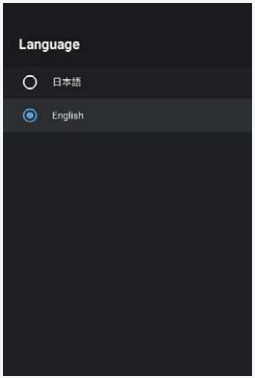


Switching the Display Language to English
ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

4. Select “English” with cursor button.
(”English”を選ぶ)

   Press 決定 (Enter) button.
(決定する)



- The menu screen is now displayed in English.
(画面表示が英語になります。)

Continued on the next page⇒



Switching the Display Language to English
ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

5. Press 終了 (Exit) button to finish this operation.
（終了する）

お知らせ

誤ってホーム画面を英語にしてしまったときは

- ツールメニューから「Basic setting」ー「Function settings」ー「Language」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

